

令和3年度ひたちなか市まちづくり達成度調査業務報告書

インターネットアンケート 調査報告書

令和4年 1月

ひたちなか市 企画部 企画調整課

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的と趣旨	1
2. 調査の対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査期間	1
5. 回収結果	1
II 調査結果概要	2
1. 回答者について	2
2. ひたちなか市への認知度について	2
3. ひたちなか市への来訪経験について	2
4. ひたちなか市への理解度について	2
5. ひたちなか市への移住意向について	3
6. その他の設問について	3
7. 全体を通して	3
III 調査結果	4
1. インターネットアンケート 調査結果	4
(1) 回答者について	4
(2) ひたちなか市への認知度について	12
(3) ひたちなか市への訪問について	13
(4) ひたちなか市への理解度について	20
(5) ひたちなか市への移住意向について	21
(6) その他の設問について	34
IV 参考資料	46
1. ひたちなか市への定住、交流に関するインターネットアンケート調査設問	46

I 調査概要

1. 調査の目的と趣旨

本調査は、東京圏在住者の本市の認知度、理解度、イメージや魅力等について調査し、定住、交流人口、関係人口の獲得に向けた現状や課題、打ち手の方策を探ることを目的として実施した。

2. 調査の対象

3年以内にひたちなか市に来訪経験のある東京圏（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県）在住の18歳以上の男女1,000名

【回収サンプル内訳】

18歳～29歳	男女各 100 サンプル	計 200	
30歳～39歳	男女各 100 サンプル	計 200	
40歳～49歳	男女各 100 サンプル	計 200	
50歳～59歳	男女各 100 サンプル	計 200	
60歳～79歳	男女各 100 サンプル	計 200	合計 1,000 サンプル

3. 調査方法

調査会社を通じ、インターネットアンケートによりサンプルを収集

4. 調査期間

令和3年12月9日 ～ 令和3年12月20日

5. 回収結果

東京圏（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県）在住の18歳以上の男女75,616名が回答し、調査対象に該当する1,000サンプルを回収した。

Ⅱ 調査結果概要

1. 回答者について

- 回答者の4割は東京都在住であり、埼玉県、千葉県、神奈川県はそれぞれ2割程度となっている。
- 回答者の職業は、「会社員」が約4割で最も多い。家族構成は「配偶者と子」世帯が約3割で最も多く、夫婦世帯が2割程度となっている。

2. ひたちなか市への認知度について

- 東京圏（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県）在住の18歳以上の男女75,616名の内、ひたちなか市を「詳しく知っている」と回答したのは全体の1割未満で3.4%となっている。
- 18歳～39歳の若い世代において、ひたちなか市の認知度が高くなっている。
- ひたちなか市を知るきっかけとして、全体の約6割の方が「テレビ」と回答しており最多となっている。実際に来訪している方も、約5割の方が「テレビ」と回答しており最多となっているが、全体の回答に比べて「テレビ」以外の項目も割合が高くなっている。

3. ひたちなか市への来訪経験について

- ひたちなか市への来訪目的としては観光が最も多くなっており、来訪の際の満足度について、「とても満足」、「やや満足」の回答割合の合計は約6割となっている。
- 満足度の理由として、ネモフィラ等の海浜公園に関する意見が多くみられ、多くの来訪者が海浜公園を訪問し、それが満足度につながっている。
- ひたちなか市への再来訪について、約6割の回答者がまた訪れたいと回答している。また、子供が遊べる施設や市へ滞在するための宿泊施設、地元の特産品を購入できる場所が求められており、その他、海を生かした観光スポットやグルメ、交通の利便性の向上等を求める意見も見られた。

4. ひたちなか市への理解度について

- 「自然環境・レジャー」については約2割が「詳しく知っている」と回答している一方で、「人口」や、「地価や住宅価格等」、「買い物など」については、「詳しく知っている」の回答割合が1割を切っている。
- 前回調査（R2）に比べ、全体的に「詳しく知っている」が減少し、「知らない」が増加している。

5. ひたちなか市への移住意向について

- 東京圏に在住する回答者の約 1 割が「移住や二地域居住等をしてみたい」、約 3 割が「現在は考えていないが将来的には検討してみたい」と回答しており、特に 18 歳～39 歳の若い世代で移住や二地域居住へのニーズが大きい。
- 移住、二地域居住先を決定する際の優先的に考える条件としては、買い物の利便性、自然環境、地価や住宅価格を重視する意見が多くなっている。
- ひたちなか市を移住・定住先として検討していると 26 名が回答しており、豊かな自然環境、東京までのアクセス性が理由として挙がっていた。また、ひたちなか市を詳しく知っている人ほど、ひたちなか市への移住や二地域居住を検討している。さらに、ひたちなか市を移住・定住先として検討している人のうち、2 割が U ターンである。
- ひたちなか市への移住、二地域居住に向けた必要な支援として、“住まい”、“仕事”、“子育て”に関する支援を求める意見が前回調査と同様に多かったほか、高齢者への支援を求める意見も見られた。

6. その他の設問について

- 新型コロナウイルスの影響による移住・定住・二地域居住等への興味・関心について、約 7 割の方が「あまり変わらない」と回答しており最多となっている。
- 地方での働き方について、約半数が地方でのテレワークやワーケーションに興味関心を示しているものの、約 3 割は実施するのは難しいと回答している。具体的な働き方の希望は、茨城県等関東郊外に居住しながら、テレワークと定期的な出勤勤務を併用する働き方が最多となっている。
- 持続可能な開発目標（SDGs）について、回答者の約 8 割の方が認知しており、その内の 2 割程度の方が「持続可能な開発目標（SDGs）の取組を推進しているまちは住む（移住する）のにとっても魅力を感じる」と回答している。

7. 全体を通して

- ひたちなか市への来訪者の多くが海浜公園を中心とした豊かな自然によって高い満足度を持っている。一方で前回調査（R2）よりも「どちらでもない」の回答が増加しており、近年では新型コロナウイルス感染症の影響によりひたちなか市へ来訪ができず、直近の来訪時期が遠くなっているため、市の印象が薄れてしまっているといった回答が見られた。
- 移住・二地域居住先を決定する際に重視する条件として、買い物や交通の便などの生活利便性や、自然に恵まれた環境が多く挙げられている。ひたちなか市の豊かな自然環境が、移住・二地域居住先として検討できる理由として高く評価されているほか、ひたちなか市に関する理解度でも、自然環境についての理解度が比較的高い一方で、東京からのアクセスや買い物に関する理解度が低いことから、市外地域に対する、市の日常生活に関する情報発信の強化が必要と考えられる。

Ⅲ 調査結果

1. インターネットアンケート 調査結果

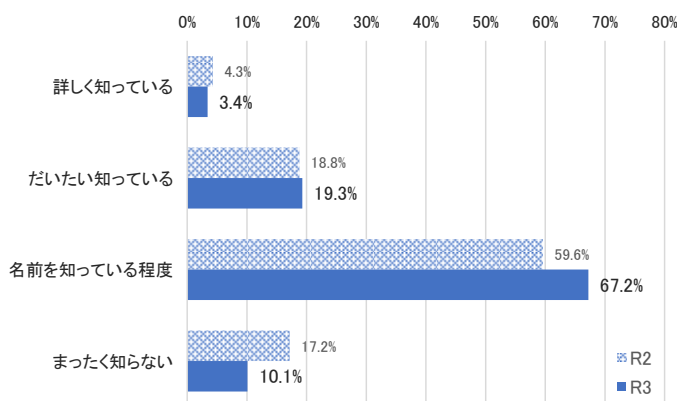
(1) 回答者について

【調査対象を抽出するためのSC（スクリーニング）設問の回答結果】

問O-1 あなたは茨城県ひたちなか市を知っていますか。[1つ選択]

- ・ひたちなか市への認知度について、「詳しく知っている」の割合は3.4%となっており、「名前を知っている程度」が67.2%で最も多かった。

総数	75,616	100.0%
詳しく知っている	2,584	3.4%
だいたい知っている	14,602	19.3%
名前を知っている程度	50,819	67.2%
まったく知らない	7,611	10.1%



問O-1で「詳しく知っている」「だいたい知っている」「名前を知っている程度」と回答した方【総数 68,005】への設問

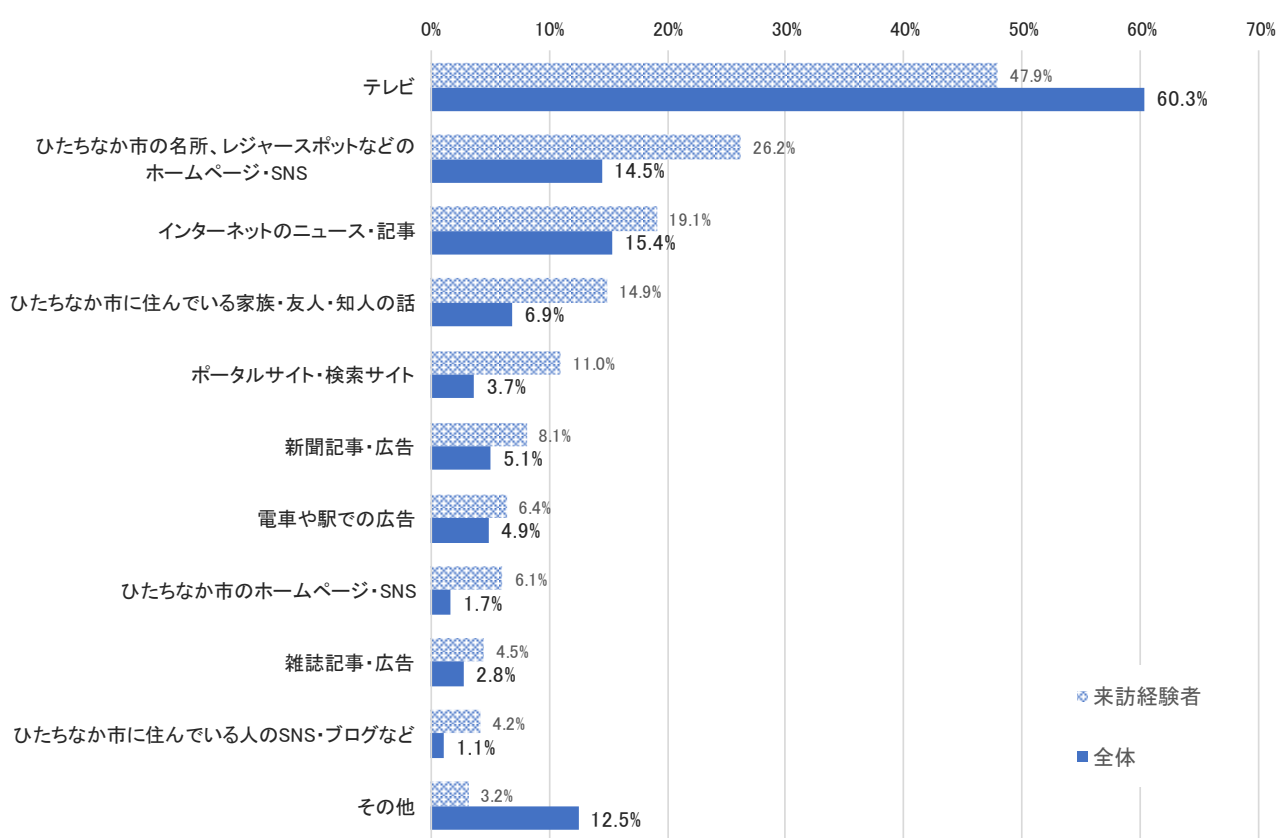
問O-2 あなたは茨城県ひたちなか市を何で知りましたか。
[あてはまるものすべてに○]

- ・ひたちなか市を知るきっかけとして、「テレビ」を選択している方の割合は60.3%で最も多く、「インターネットのニュース・記事」が15.4%で続いている。
- ・「その他」の回答では、「イベント」、「仕事での出張」等の回答がみられた。

総数	68,005	100.0%
テレビ	41,011	60.3%
インターネットのニュース・記事	10,493	15.4%
ひたちなか市の名所、レジャースポットなどのホームページ・SNS	9,844	14.5%
その他	8,525	12.5%
ひたちなか市に住んでいる家族・友人・知人の話	4,718	6.9%
新聞記事・広告	3,459	5.1%
電車や駅での広告	3,332	4.9%
ポータルサイト・検索サイト	2,530	3.7%
雑誌記事・広告	1,933	2.8%
ひたちなか市のホームページ・SNS	1,188	1.7%
ひたちなか市に住んでいる人のSNS・ブログなど	759	1.1%

※来訪経験者 1,000 サンプルの回答

総数	1,000	100.0%
テレビ	479	47.9%
ひたちなか市の名所、レジャースポットなどのホームページ・SNS	262	26.2%
インターネットのニュース・記事	191	19.1%
ひたちなか市に住んでいる家族・友人・知人の話	149	14.9%
その他	110	11.0%
ポータルサイト・検索サイト	81	8.1%
電車や駅での広告	64	6.4%
新聞記事・広告	61	6.1%
ひたちなか市のホームページ・SNS	45	4.5%
雑誌記事・広告	42	4.2%
ひたちなか市に住んでいる人のSNS・ブログなど	32	3.2%

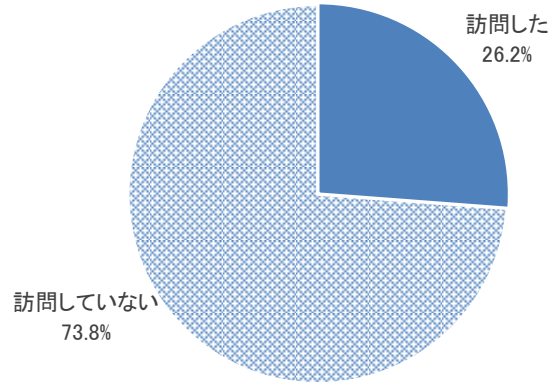


- ・直近3年間に実際にひたちなか市を訪れている層では、「テレビ」以外の項目で全体の回答割合を上回っており、多様な情報源がひたちなか市を知るきっかけとなっている。

問O-3 あなたは直近3年間（2019年～2021年）にひたちなか市にある以下の目的地を訪問したことはありますか。[あてはまるものすべて選択]

- ひたちなか市を「訪問した」ことがある割合は26.2%となっている。

総数	75,616	100.0%
訪問した	19,789	26.2%
訪問していない	55,827	73.8%



- ひたちなか市への訪問経験があると回答した中で、最も割合の多い目的地は「国営ひたち海浜公園」で18.4%、次点が「那珂湊おさかな市場」で8.2%となっている。
- ビジネス関係での来訪では「日立製作所」が5.3%で最も多い。
- 『その他』の回答では、「墓参り」、「笠松運動公園」、「勝田駅」等の回答がみられた。

【目的地別割合（観光スポット、買い物、イベント）】

目的地	総数	割合
国営ひたち海浜公園	13,928	18.4%
那珂湊おさかな市場	6,233	8.2%
ROCK IN JAPAN FESTIVAL	1,829	2.4%
阿字ヶ浦海水浴場	1,612	2.1%
ジョイフル本田 ニューポートひたちなか店	1,420	1.9%
ひたちなか海浜鉄道湊線	1,388	1.8%
ファッションクルーズニューポートひたちなか	863	1.1%
コストコホールセール ひたちなか倉庫店	782	1.0%
酒列磯前神社	739	1.0%
平磯海水浴場	633	0.8%
勝田ゴルフ倶楽部	552	0.7%
勝田全国マラソン	477	0.6%
ひたちなか祭り	455	0.6%
那珂湊反射炉跡	330	0.4%
虎塚古墳	256	0.3%
平磯白亜紀層	211	0.3%

【目的地別割合（ビジネス）】

総数	75,616	100.0%
株式会社日立製作所	4,028	5.3%
日立建機株式会社	752	1.0%
株式会社日立物流	699	0.9%
日立Astemo株式会社	481	0.6%
株式会社日立ハイテク	460	0.6%
コマツ物流株式会社	390	0.5%
ルネサスエレクトロニクス株式会社	378	0.5%
株式会社小松製作所	334	0.4%
株式会社日立ハイテクマニファクチャ&サービス	317	0.4%
常陸那珂港区	302	0.4%
工機ホールディングス	302	0.4%
株式会社日立カーエンジニアリング	263	0.3%
昭和電工マテリアルズ株式会社	219	0.3%
ピークルエナジージャパン株式会社	177	0.2%
北越パッケージ株式会社	144	0.2%
北越コーポレーション	116	0.2%

【目的地別割合（その他）】

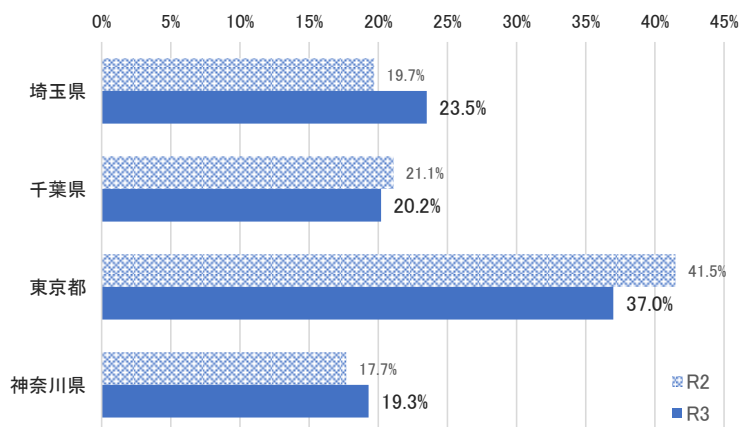
総数	75,616	100.0%
家族・知人の家	796	1.1%
陸上自衛隊 勝田駐屯地	649	0.9%
その他	553	0.7%
自動車安全運転センター	538	0.7%

【調査対象者 1,000 サンプルの属性について】

1. 居住地

・回答者の37.0%は「東京都」に居住している。

総数	1,000	100.0%
埼玉県	235	23.5%
千葉県	202	20.2%
東京都	370	37.0%
神奈川県	193	19.3%

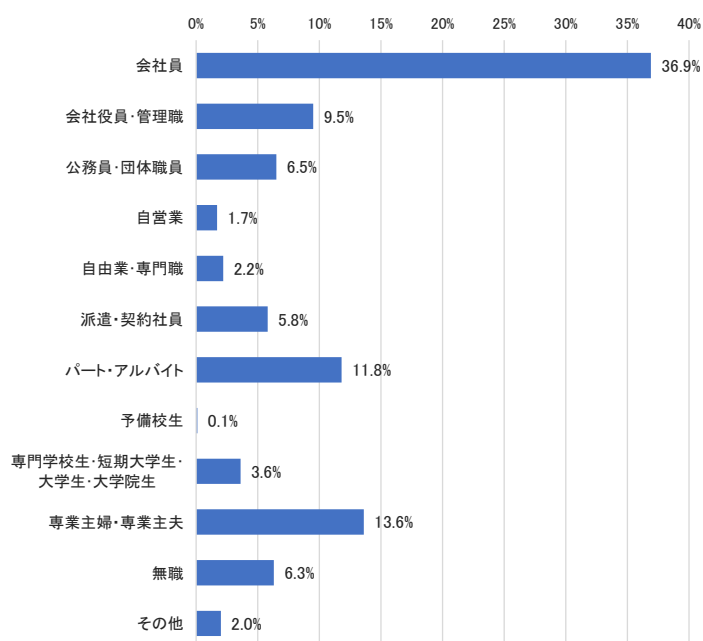


※前回調査 (R2) は今回と条件が異なり、男女比6対4にて調査を実施

2. 職業

・回答者の職業は、「会社員」が36.9%で最も多く、「専業主婦・主夫」が13.6%、「パート・アルバイト」が11.8%で続いている。

総数	1,000	100.0%
会社員	369	36.9%
会社役員・管理職	95	9.5%
公務員・団体職員	65	6.5%
自営業	17	1.7%
自由業・専門職	22	2.2%
派遣・契約社員	58	5.8%
パート・アルバイト	118	11.8%
予備校生	1	0.1%
専門学校生・短期大学生・ 大学生・大学院生	36	3.6%
専業主婦・専業主夫	136	13.6%
無職	63	6.3%
その他	20	2.0%



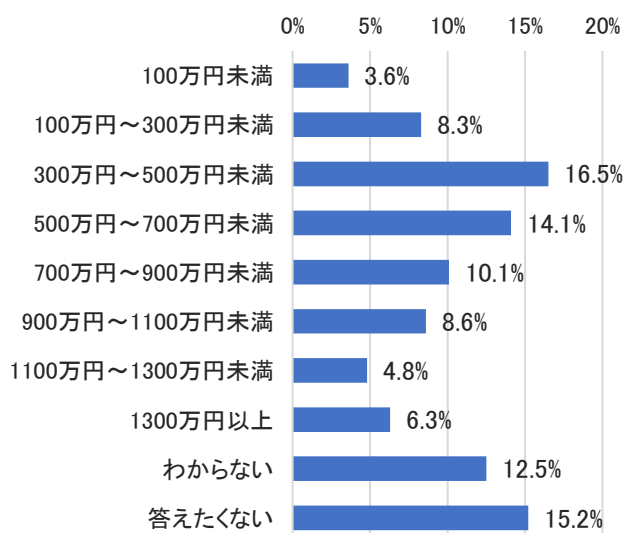
【前回調査（R2）参考】 ※項目が異なるため比較なし

総数	1,000	100.0%
会社員(正社員)	520	52.0%
会社員(契約・派遣社員)	42	4.2%
経営者・役員	36	3.6%
公務員(教職員を除く)	37	3.7%
自由業	21	2.1%
自営業	33	3.3%
パート・アルバイト	75	7.5%
医師・医療関係者	9	0.9%
専業主婦	82	8.2%
学生	54	5.4%
無職	75	7.5%
その他	16	1.6%

3. 世帯年収

- 回答者の世帯年収では、「300万～500万未満」が16.5%で最も多く、「500万～700万未満」が14.1%で続いている。

総数	1,000	100.0%
100万未満	36	3.6%
100万～300万未満	83	8.3%
300万～500万未満	165	16.5%
500万～700万未満	141	14.1%
700万～900万未満	101	10.1%
900万～1100万未満	86	8.6%
1100万～1300万未満	48	4.8%
1300万以上～	63	6.3%
わからない	125	12.5%
答えたくない	152	15.2%



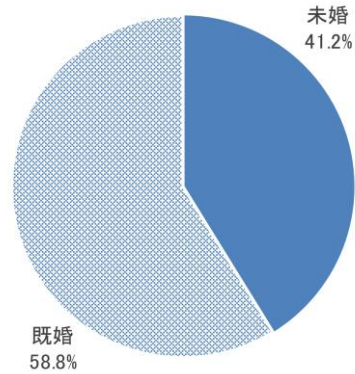
【前回調査（R2）参考】 ※項目が異なるため比較なし

総数	1,000	100.0%
100万未満	43	4.3%
100万～300万未満	97	9.7%
300万～500万未満	195	19.5%
500万～700万未満	220	22.0%
700万～900万未満	163	16.3%
900万～1100万未満	145	14.5%
1100万～1300万未満	61	6.1%
1300万以上～	76	7.6%

4. 未既婚

・回答者の41.2%が「未婚」、58.8%が「既婚」となっている。

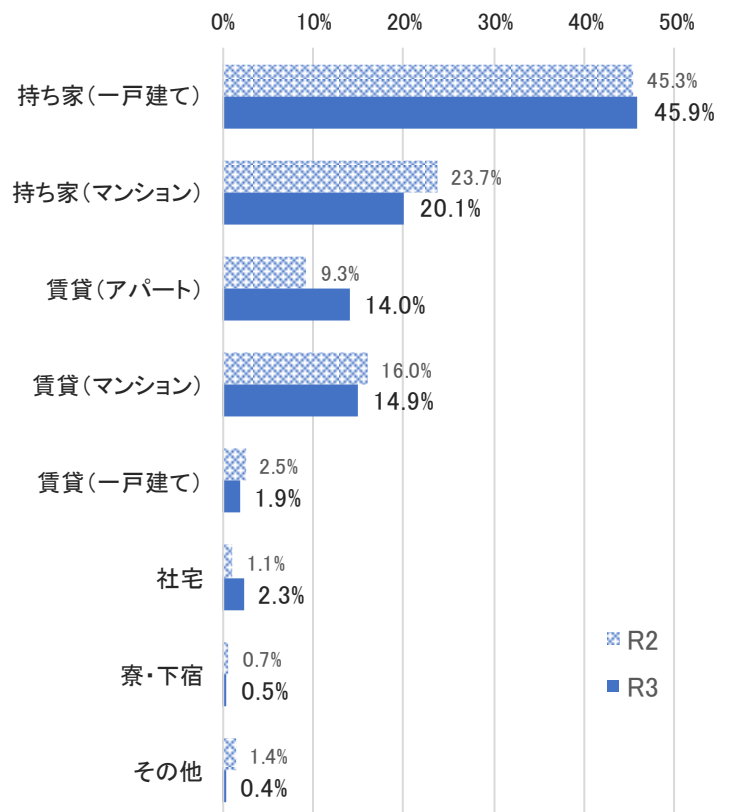
総数	1,000	100.0%
未婚	412	41.2%
既婚	588	58.8%



5. 居住形態

・回答者の居住形態は「持ち家（一戸建て）」が45.9%で最も多い。

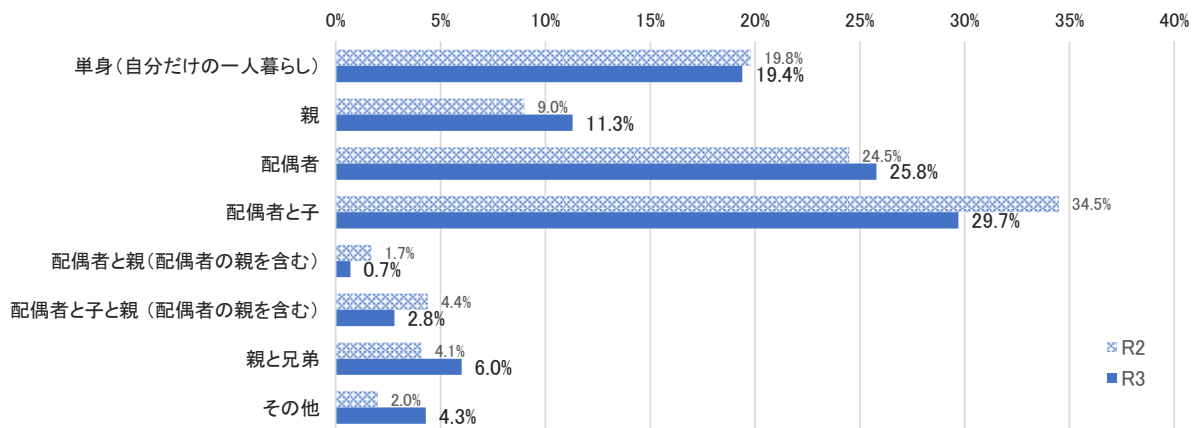
総数	1,000	100.0%
持ち家（一戸建て）	459	45.9%
持ち家（マンション）	201	20.1%
賃貸（アパート）	140	14.0%
賃貸（マンション）	149	14.9%
賃貸（一戸建て）	19	1.9%
社宅	23	2.3%
寮・下宿	5	0.5%
その他	4	0.4%



問1 あなたの同居家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。[1つ選択]

- 「配偶者と子」が29.7%で最も多く、「配偶者」が25.8%で続いている。
- 『その他』の回答では、「自身+子供」、「祖父母」、「恋人」等の回答がみられた。

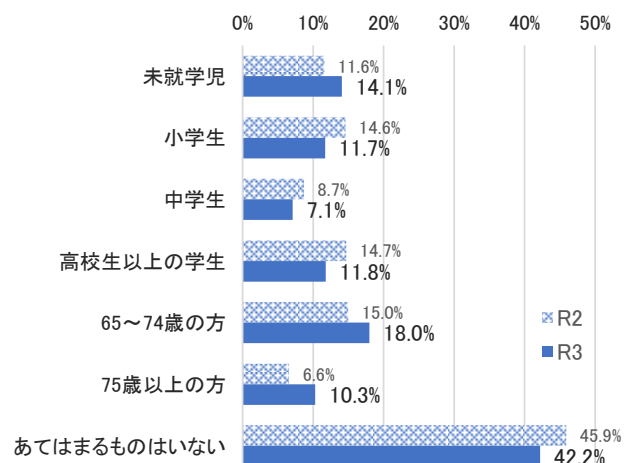
総数	1,000	100.0%
単身(自分だけの一人暮らし)	194	19.4%
親	113	11.3%
配偶者	258	25.8%
配偶者と子	297	29.7%
配偶者と親(配偶者の親を含む)	7	0.7%
配偶者と子と親(配偶者の親を含む)	28	2.8%
親と兄弟	60	6.0%
その他	43	4.3%



問2 同居家族に次の方はいますか。あてはまるものを全てお答えください。[あてはまるものすべて選択]

- 「65～74歳の方」の回答が18.0%で最も多く、「未就学児」が14.1%で2番目に多くなっている。

総数	806	100.0%
未就学児	114	14.1%
小学生	94	11.7%
中学生	57	7.1%
高校生以上の学生	95	11.8%
65～74歳の方	145	18.0%
75歳以上の方	83	10.3%
あてはまるものはいない	340	42.2%



(2) ひたちなか市への認知度について

- ひたちなか市への認知度について、年齢別にみると「18歳～29歳」で「詳しく知っている」の割合が18.0%と最も高い。一方で「60歳～79歳」が5.0%で最も低くなっている。
- また、居住する都道府県別にみると、「東京都」が「詳しく知っている」の回答割合が13.2%で最も高く、「千葉県」が最も低い8.3%となっている。

【年齢別の認知度について】

%	詳しく知っている	だいたい知っている	名前を知っている程度
総数	11.5	40.7	47.8
18歳～29歳	18.0	42.5	39.5
30歳～39歳	17.5	39.5	43.0
40歳～49歳	8.0	39.5	52.5
50歳～59歳	9.0	38.0	53.0
60歳～79歳	5.0	44.0	51.0

【居住地別の認知度について】

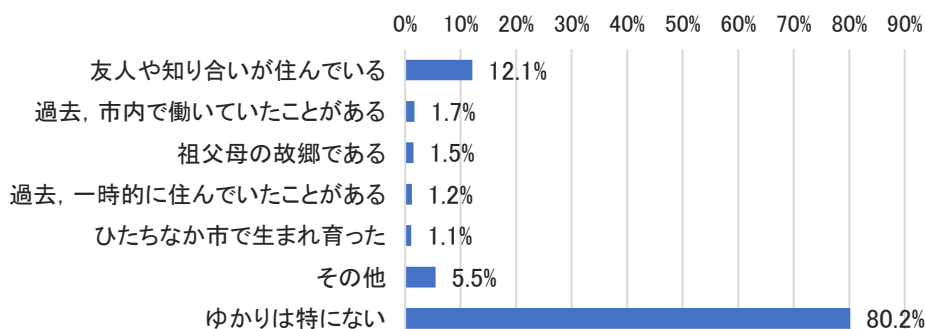
%	詳しく知っている	だいたい知っている	名前を知っている程度
総数	11.5	40.7	47.8
埼玉県	11.0	42.0	46.9
千葉県	8.3	47.5	44.1
東京都	13.2	38.1	48.7
神奈川県	12.4	36.6	51.0

(3) ひたちなか市への訪問について

問3 あなたは、ひたちなか市とどのようなゆかりがありますか。[あてはまるものすべて選択]

- ひたちなか市と何らかのゆかりがある回答の中では、「友人や知り合いが住んでいる」が 12.1% で最も多い。
- 『その他』の回答では「配偶者がひたちなか市の出身である」「親族が住んでいる」等の回答が見られた。

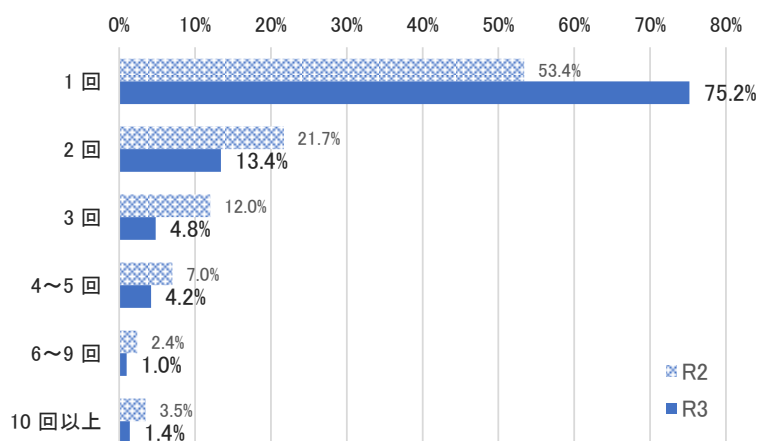
総数	1,000	100.0%
ひたちなか市で生まれ育った	11	1.1%
祖父母の故郷である	15	1.5%
過去、一時的に住んでいたことがある	12	1.2%
友人や知り合いが住んでいる	121	12.1%
過去、市内で働いていたことがある	17	1.7%
その他	55	5.5%
ゆかりは特にない	802	80.2%



問4 あなたは直近3年間（2019年～2021年）で何度ひたちなか市を訪問しましたか。[1つ選択]

- 直近3年間でのひたちなか市への訪問回数について、「1回」が 75.2%で最も多く、「2回」が 13.4%で次点となっている。「10回以上」は 1.4%となっている。

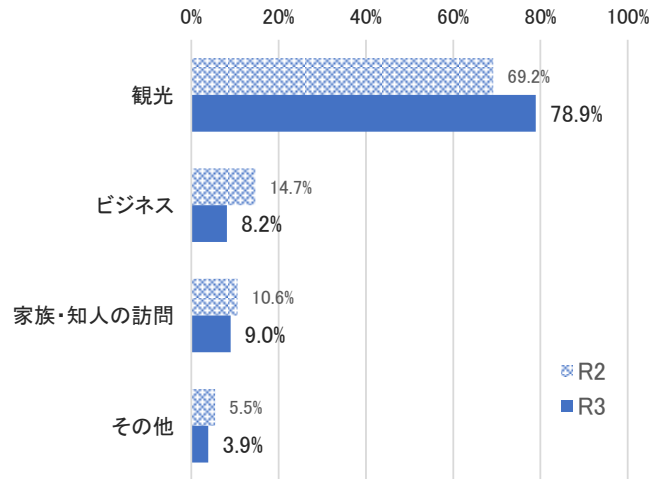
総数	1,000	100.0%
1回	752	75.2%
2回	134	13.4%
3回	48	4.8%
4～5回	42	4.2%
6～9回	10	1.0%
10回以上	14	1.4%



問5 直近3年間（2019年～2021年）でひたちなか市を訪問した目的をお答えください。（複数回訪問された方は、最も多い目的をお答えください。〔1つ選択〕

- ひたちなか市への訪問目的では、「観光」が78.9%で最も多い。
- 『その他』の回答では、「買い物」、「食事」等の回答が見られた。

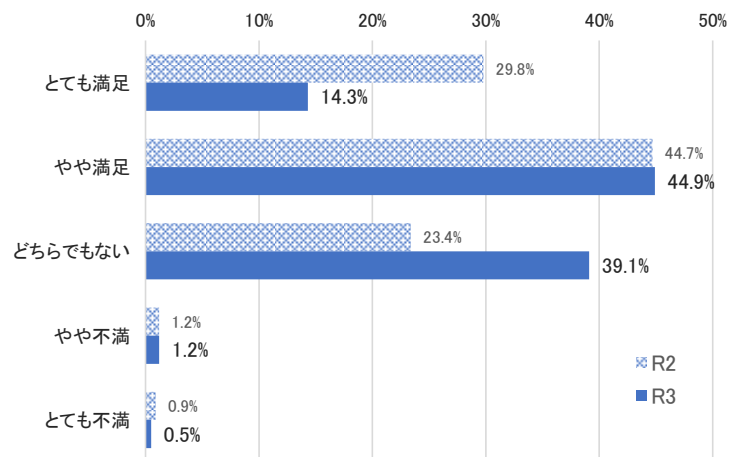
総数	1,000	100.0%
観光	789	78.9%
ビジネス	82	8.2%
家族・知人の訪問	90	9.0%
その他	39	3.9%



問6 直近のひたちなか市を訪問した際の満足度をお答えください。〔1つ選択〕

- ひたちなか市への訪問の際の満足度は「やや満足」が44.9%で最も高い。「とても満足」は14.3%で、「やや満足」、「とても満足」の合計は59.2%となっている。

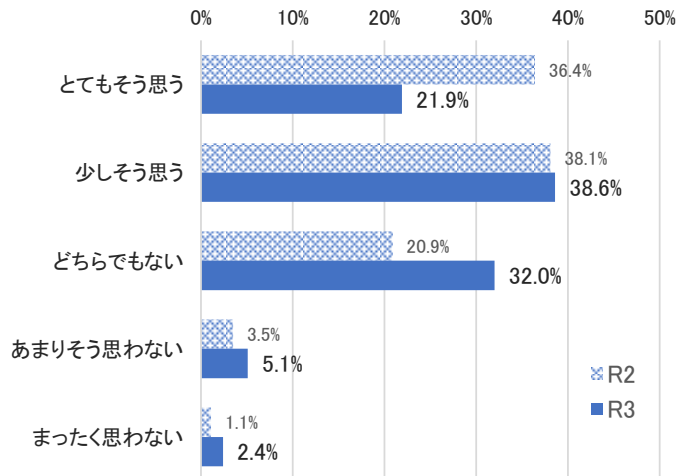
総数	1,000	100.0%
とても満足	143	14.3%
やや満足	449	44.9%
どちらでもない	391	39.1%
やや不満	12	1.2%
とても不満	5	0.5%



問8 あなたはまたひたちなか市を訪れたいですか。[1つ選択]

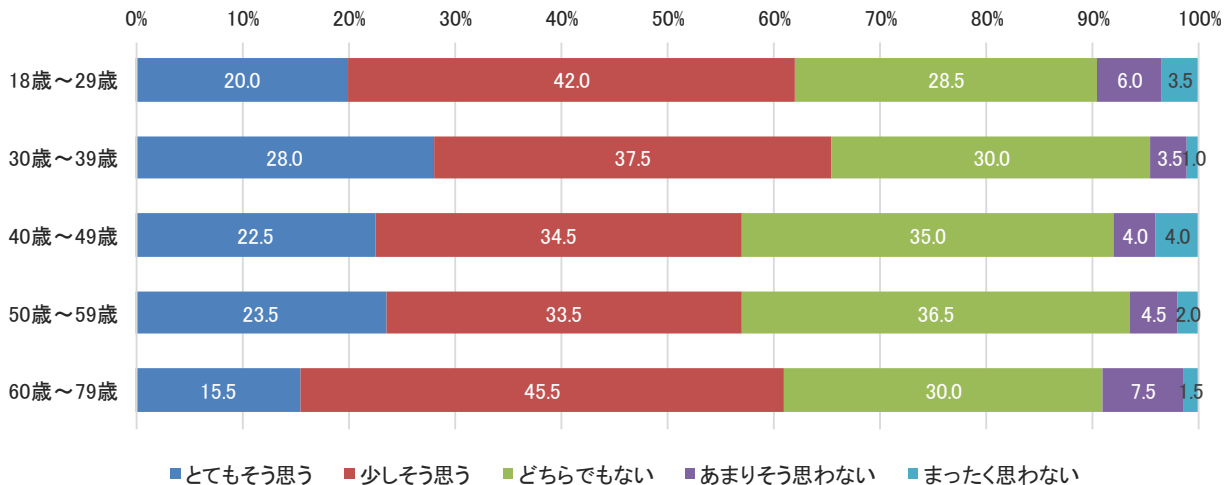
- ひたちなか市への再来訪について、「少しそう思う」が38.6%で最も多く、「とてもそう思う」が21.9%が続いている。「あまりそう思わない」は5.1%、「まったく思わない」は2.4%となっている。
- 年齢別の回答では、「30歳～39歳」で「とてもそう思う」の回答割合が最も大きく28.0%となっている。

総数	1,000	100.0%
とてもそう思う	219	21.9%
少しそう思う	386	38.6%
どちらでもない	320	32.0%
あまりそう思わない	51	5.1%
まったく思わない	24	2.4%



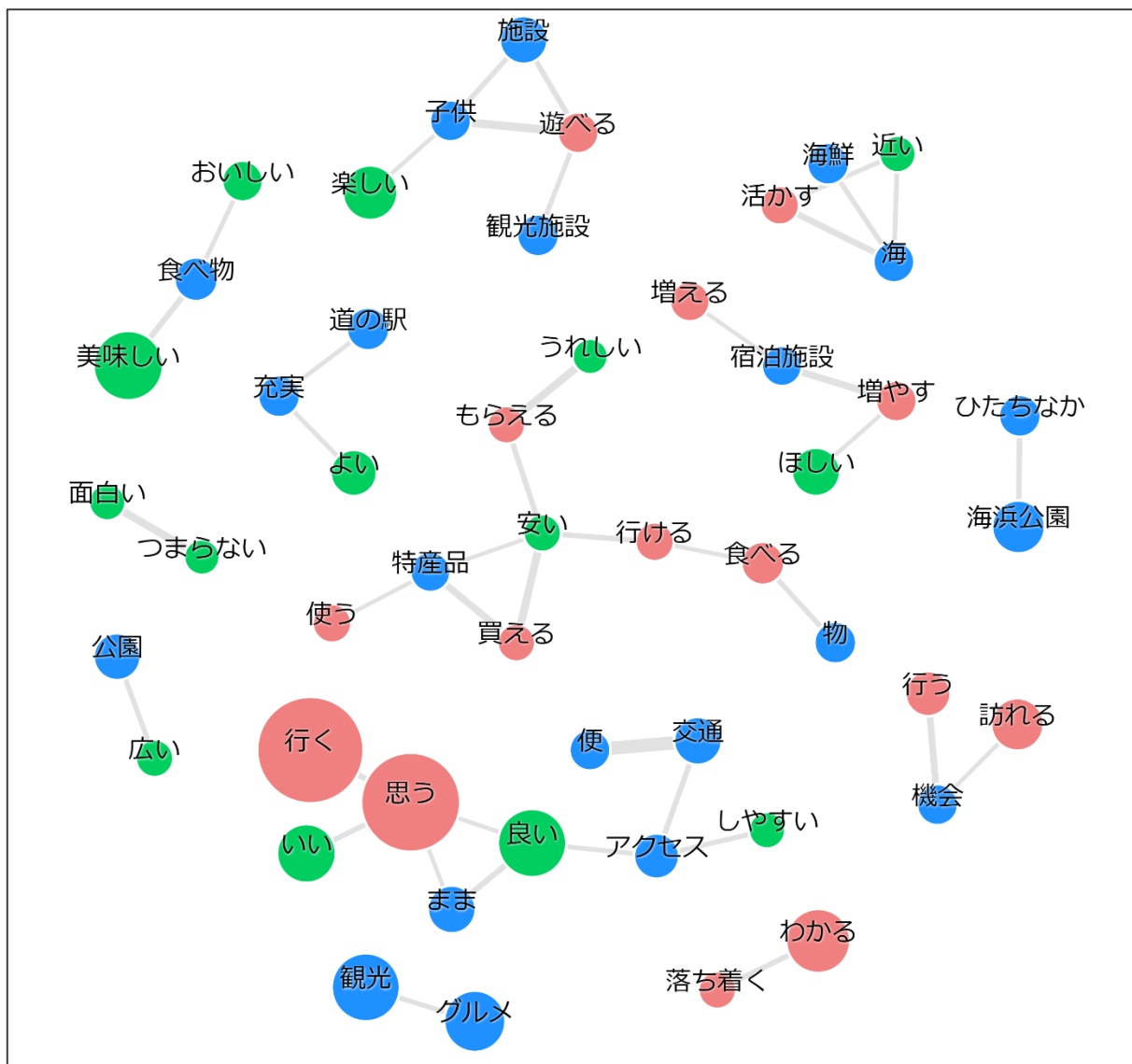
【年齢別の再来訪意思について】

%	とても そう思う	少し そう思う	どちらでも ない	あまりそう 思わない	まったく 思わない
総数	21.9%	38.6%	32.0%	5.1%	2.4%
18歳～29歳	20.0%	42.0%	28.5%	6.0%	3.5%
30歳～39歳	28.0%	37.5%	30.0%	3.5%	1.0%
40歳～49歳	22.5%	34.5%	35.0%	4.0%	4.0%
50歳～59歳	23.5%	33.5%	36.5%	4.5%	2.0%
60歳～79歳	15.5%	45.5%	30.0%	7.5%	1.5%



■出現パターン

- 出現回数の多いワードの出現パターンをみると、「施設」は「観光施設」や「宿泊施設」として出現しており、それぞれ「遊べる」、「増やす」と関連して出現している。
- また、「アクセス」は「交通」と「しやすい」に関連して出現している。



■自由記述の分析結果まとめ

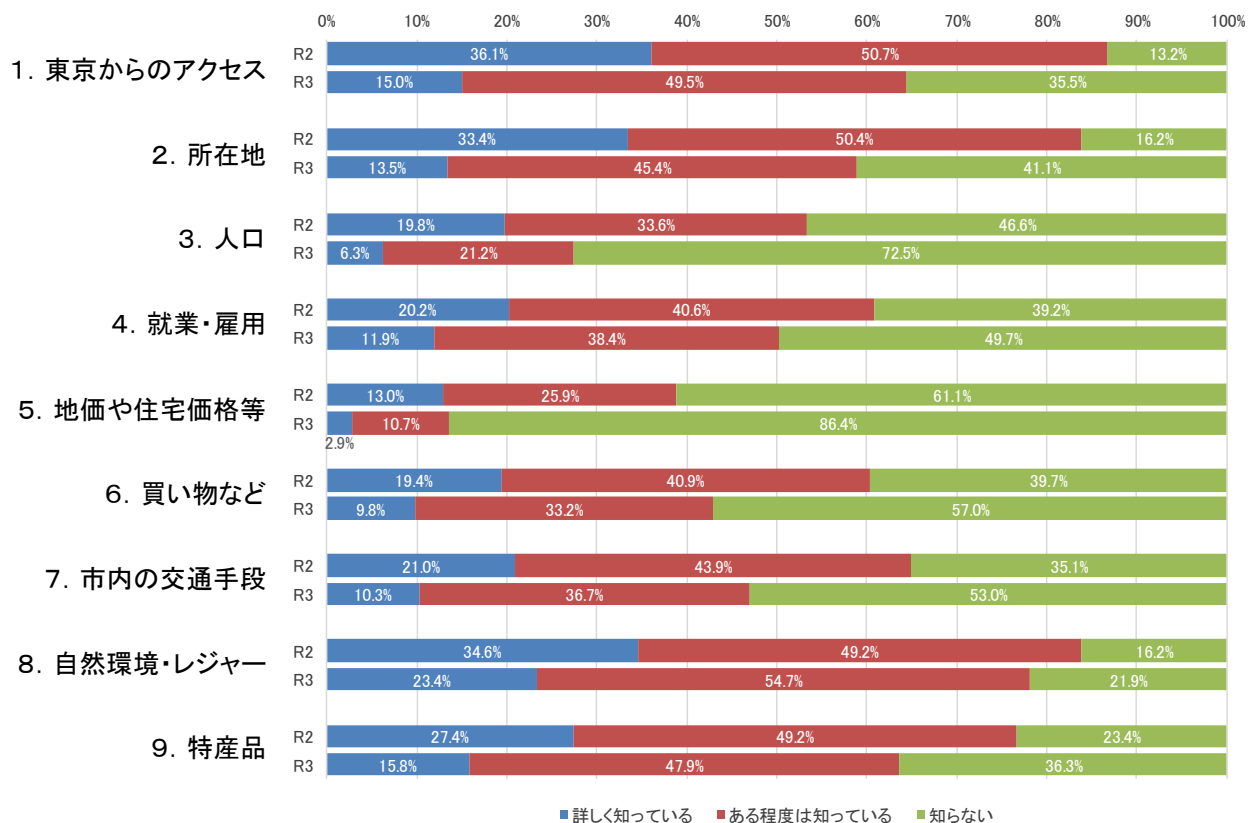
- 子供が遊べる観光施設やひたちなか市へ滞在するための宿泊施設を増やしてほしいといった意見や、交通アクセスをよくしてほしいなどの意見が多い傾向が見られる。
- 地元の特産品を安く購入することのできる場所が求められており、道の駅があるとよいといった意見も見られる。

(4) ひたちなか市への理解度について

問 10 あなたはひたちなか市について、どの程度知っていますか。[各問1つ選択]

・ひたちなか市への理解度について、「詳しく知っている」の割合が最も大きいのは「8.自然環境・レジャー」で23.4%、「知らない」の割合が最も大きいのは「5.地価や住宅価格等」で86.4%となっている。

項目	回答数			回答割合			回答割合比較(R3-R2)		
	詳しく知っている	ある程度は知っている	知らない	詳しく知っている	ある程度は知っている	知らない	詳しく知っている	ある程度は知っている	知らない
1. 東京からのアクセス ・東京まで1時間半程度でアクセスできる。 (電車(東京駅～勝田駅)90分、高速道路110)	150	495	355	15.0%	49.5%	35.5%	-21.1%	-1.2%	22.3%
2. 所在地 ・茨城県の中央に位置し、県庁所在地である水戸市まで、電車で1駅(6分)、自動車は20分程度でアクセスできる。	135	454	411	13.5%	45.4%	41.1%	-19.9%	-5.0%	24.9%
3. 人口 ・水戸市、つくば市、日立市に次いで、茨城県で4番目の人口規模である。	63	212	725	6.3%	21.2%	72.5%	-13.5%	-12.4%	25.9%
4. 就業・雇用 ・日立製作所の企業城下町として発展した歴史があり、市内には日立製作所と関連企業における雇用が多い。	119	384	497	11.9%	38.4%	49.7%	-8.3%	-2.2%	10.5%
5. 地価や住宅価格等 ・基準地価は、38,000円/m ² 程度で練馬区の1/12程度である。	29	107	864	2.9%	10.7%	86.4%	-10.1%	-15.2%	25.3%
6. 買い物など ・大型ショッピングモールや映画館等が立地している。	98	332	570	9.8%	33.2%	57.0%	-9.6%	-7.7%	17.3%
7. 市内の交通手段 ・ひたちなか海浜鉄道湊線が市内を運行している。自家用車での移動が多い。	103	367	530	10.3%	36.7%	53.0%	-10.7%	-7.2%	17.9%
8. 自然環境・レジャー ・ひたち海浜公園や海水浴場、おさかな市場など自然環境やレジャーが充実している。	234	547	219	23.4%	54.7%	21.9%	-11.2%	5.5%	5.7%
9. 特産品 ・干しいもの生産が盛んであり、港町ならではの新鮮な海の幸も豊富に揃う。	158	479	363	15.8%	47.9%	36.3%	-11.6%	-1.3%	12.9%

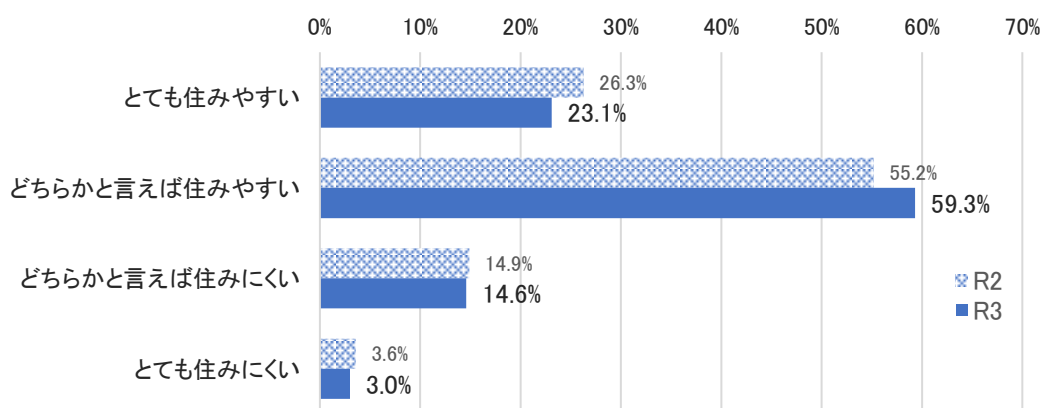


(5) ひたちなか市への移住意向について

問 11 あなたは、現在お住まいの地域の住み心地をどのように感じていますか。[1つ選択]

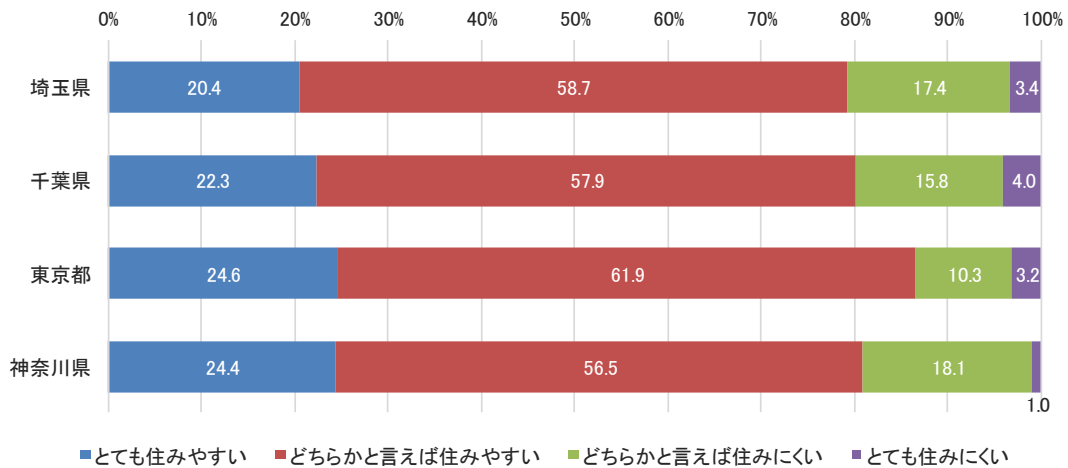
- 「どちらかと言えば住みやすい」が59.3%、「とても住みやすい」が23.1%で続いている。「どちらかと言えば住みにくい」、「とても住みにくい」の合計は17.6%となっている。
- 居住地別の回答では、「東京都」在住者で、「とても住みやすい」の回答割合が最も大きく24.6%となっている。
- 年齢別の回答では、「30～39歳」で「とても住みやすい」の回答割合が最も大きく25.0%となっており、次に「40～49歳」が24.5%と続いている。

総数	1,000	100.0%
とても住みやすい	231	23.1%
どちらかと言えば住みやすい	593	59.3%
どちらかと言えば住みにくい	146	14.6%
とても住みにくい	30	3.0%



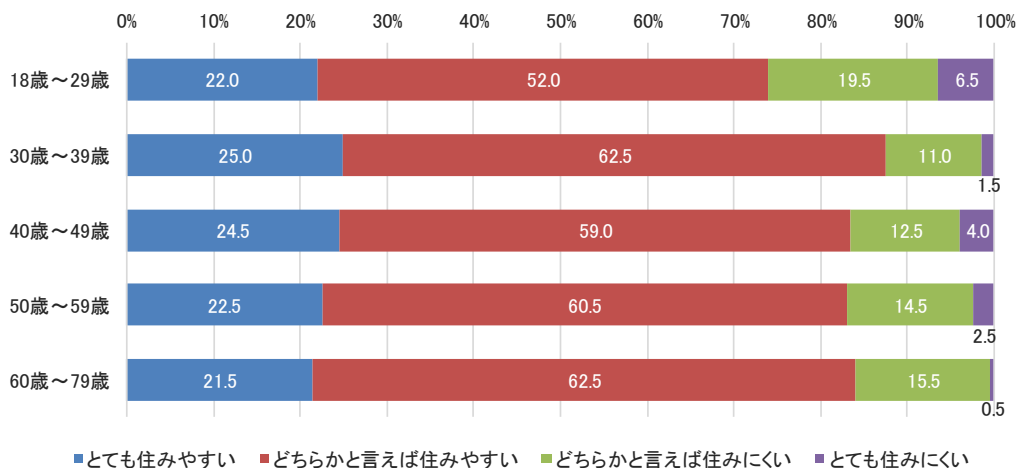
【居住地別の住み心地について】

%	とても 住みやすい	どちらかと 言えば住み やすい	どちらかと 言えば住み にくい	とても 住みにくい
総数	23.1%	59.3%	14.6%	3.0%
埼玉県	20.4%	58.7%	17.4%	3.4%
千葉県	22.3%	57.9%	15.8%	4.0%
東京都	24.6%	61.9%	10.3%	3.2%
神奈川県	24.4%	56.5%	18.1%	1.0%



【年齢別の住み心地について】

%	とても 住みやすい	どちらかと 言えば住み やすい	どちらかと 言えば住み にくい	とても 住みにくい
総数	23.1%	59.3%	14.6%	3.0%
18歳～29歳	22.0%	52.0%	19.5%	6.5%
30歳～39歳	25.0%	62.5%	11.0%	1.5%
40歳～49歳	24.5%	59.0%	12.5%	4.0%
50歳～59歳	22.5%	60.5%	14.5%	2.5%
60歳～79歳	21.5%	62.5%	15.5%	0.5%

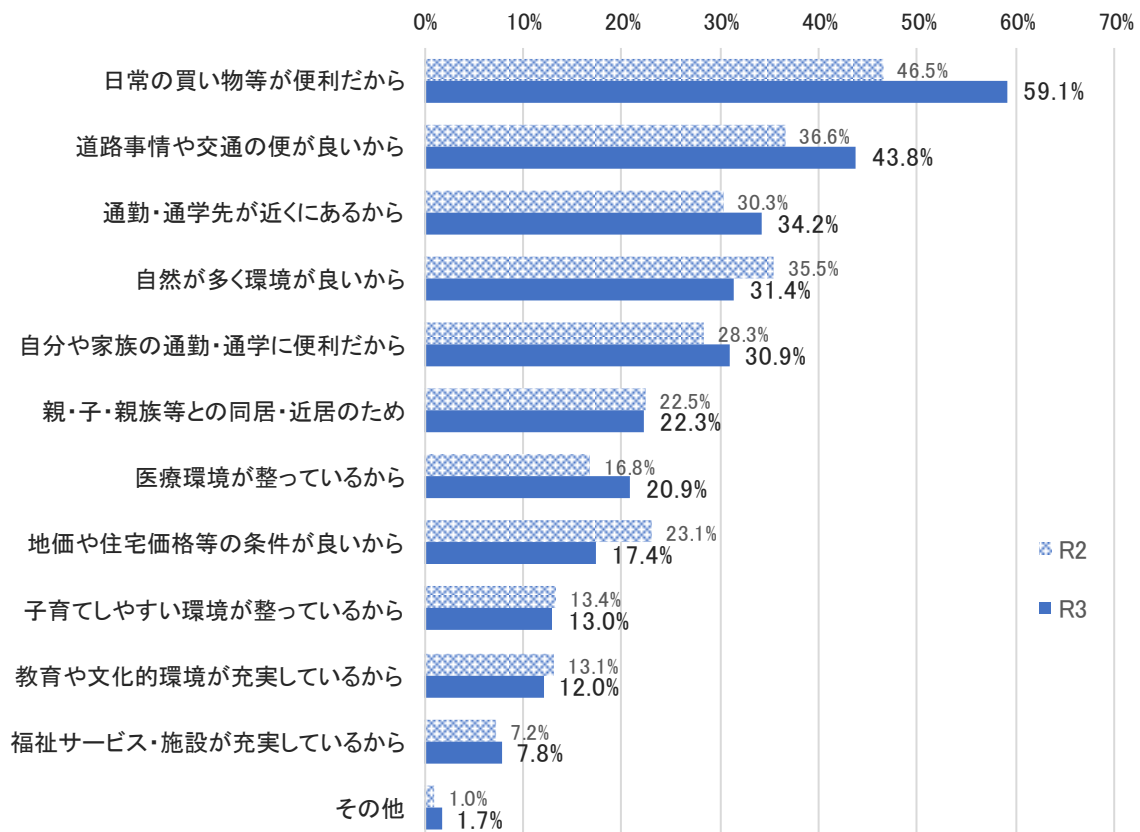


【問 11 で「とても住みやすい」、「どちらかと言えば住みやすい」を選択された方】

問 12-1 問 11 で「1. とても住みやすい」、「2. どちらかと言えば住みやすい」を選択された理由をお答えください。[あてはまるものすべて選択]

- 「日常の買い物等が便利だから」が最も多く選択されており 59.1%、「道路事情や交通の便が良いから」が 43.8%で続いている。
- 『その他』の回答では、「知り合いが多い」等の回答がみられた。

理由	人数	割合
総数	824	100.0%
日常の買い物等が便利だから	487	59.1%
道路事情や交通の便が良いから	361	43.8%
通勤・通学先が近くにあるから	282	34.2%
自然が多く環境が良いから	259	31.4%
自分や家族の通勤・通学に便利だから	255	30.9%
親・子・親族等との同居・近居のため	184	22.3%
医療環境が整っているから	172	20.9%
地価や住宅価格等の条件が良いから	143	17.4%
子育てしやすい環境が整っているから	107	13.0%
教育や文化的環境が充実しているから	99	12.0%
福祉サービス・施設が充実しているから	64	7.8%
その他	14	1.7%

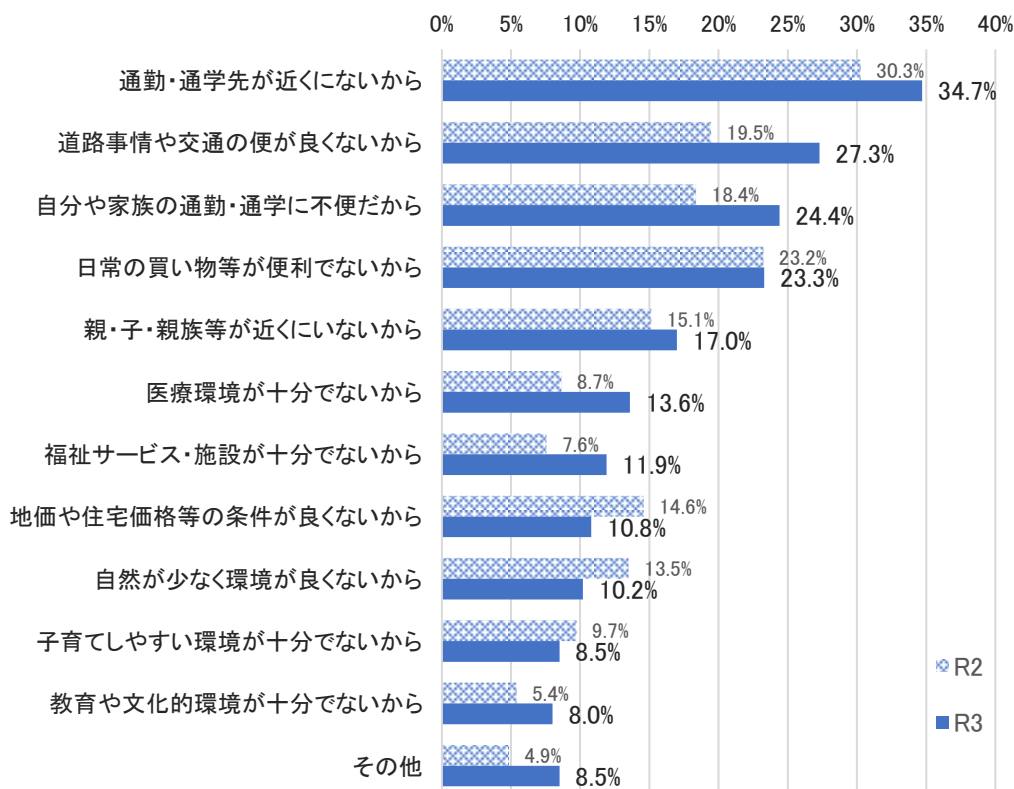


【問 11 で「どちらかと言えば住みにくい」、「とても住みにくい」を選択された方】

問 12-2 問 11 で「3. どちらかと言えば住みにくい」、「4. とても住みにくい」を選択された理由をお答えください。[あてはまるものすべて選択]

- 「通勤・通学先が近くにないから」が最も多く選択されており 34.7%、「道路事情や交通の便が良くないから」が 27.3%で続いている。
- 『その他』の回答では、「市政がよくない」等の回答がみられた。

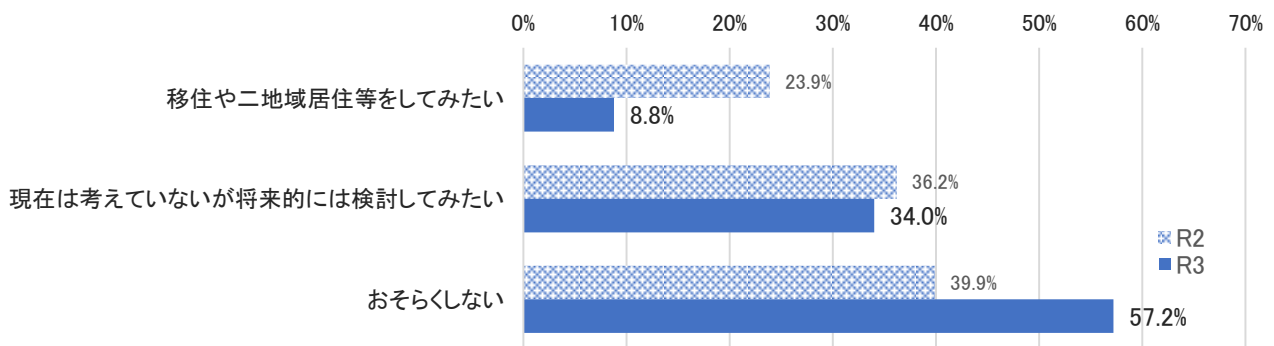
理由	人数	割合
総数	176	100.0%
通勤・通学先が近くにないから	61	34.7%
道路事情や交通の便が良くないから	48	27.3%
自分や家族の通勤・通学に不便だから	43	24.4%
日常の買い物等が便利でないから	41	23.3%
親・子・親族等が近くにいないから	30	17.0%
医療環境が十分でないから	24	13.6%
福祉サービス・施設が十分でないから	21	11.9%
地価や住宅価格等の条件が良くないから	19	10.8%
自然が少なく環境が良くないから	18	10.2%
子育てしやすい環境が十分でないから	15	8.5%
教育や文化的環境が十分でないから	14	8.0%
その他	15	8.5%



問 13 今後、移住や二地域居住等をしてみたいと思いますか。[1つ選択]

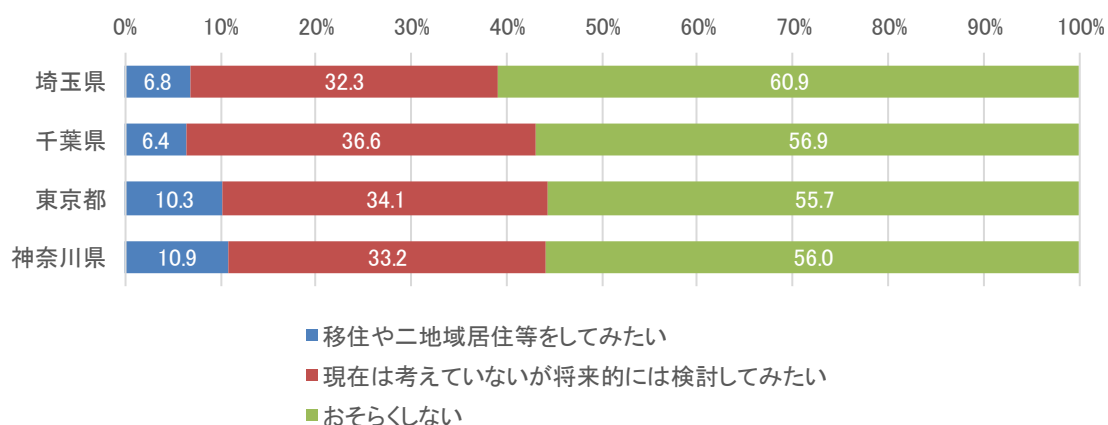
- 今後の移住や二地域居住への意向について、「移住や二地域居住等をしてみたい」との回答は 8.8%、「現在は考えていないが将来的には検討してみたい」が 34.0%となっている。
- 居住地別の回答では、「神奈川県」在住者で、「移住や二地域居住等をしてみたい」の回答割合が最も大きく 10.9%となっており、次に「東京都」在住者が 10.3%と続いている。
- 年齢別の回答では、「18～29 歳」で「移住や二地域居住等をしてみたい」の回答割合が最も大きく 13.0%となっており、次に「30～39 歳」が 11.0%と続いている。

総数	1,000	100.0%
移住や二地域居住等をしてみたい	88	8.8%
現在は考えていないが将来的には検討してみたい	340	34.0%
おそらくしない	572	57.2%



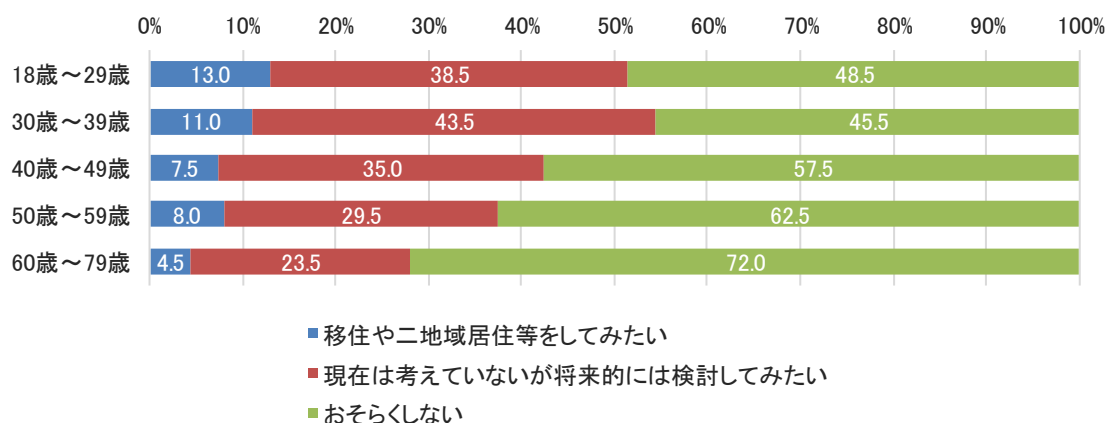
【居住地別の移住や二地域居住について】

%	移住や二地域居住等をしてみたい	現在は考えていないが将来的には検討してみたい	おそらくしない
総数	8.8%	34.0%	57.2%
埼玉県	6.8%	32.3%	60.9%
千葉県	6.4%	36.6%	56.9%
東京都	10.3%	34.1%	55.7%
神奈川県	10.9%	33.2%	56.0%



【年齢別の移住や二地域居住について】

%	移住や二地域居住等をしてみたい	現在は考えていないが将来的には検討してみたい	おそらくしない
総数	8.8%	34.0%	57.2%
18歳～29歳	13.0%	38.5%	48.5%
30歳～39歳	11.0%	43.5%	45.5%
40歳～49歳	7.5%	35.0%	57.5%
50歳～59歳	8.0%	29.5%	62.5%
60歳～79歳	4.5%	23.5%	72.0%

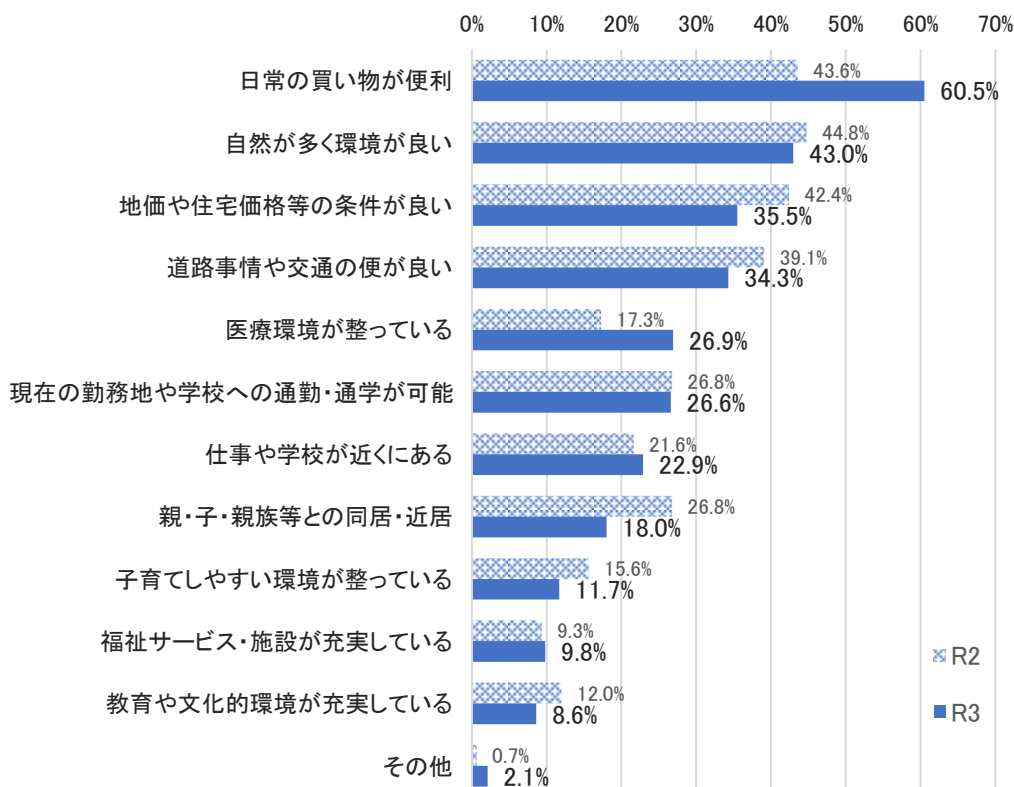


【問 13 で「移住や二地域居住等をしてみたい」、「現在は考えていないが将来的には検討してみたい」を選択された方】

問 14 あなたが今後移住・二地域居住先を決定する際の優先的に考える条件について 3 つお答えください。[3つ選択]

・移住・二地域居住先を決定する際の優先的に考える条件について、「日常の買い物が便利」が 60.5% で最も選択されており、「自然が多く環境が良い」が 43.0% で続いている。

条件	人数	割合
総数	428	100.0%
日常の買い物が便利	259	60.5%
自然が多く環境が良い	184	43.0%
地価や住宅価格等の条件が良い	152	35.5%
道路事情や交通の便が良い	147	34.3%
医療環境が整っている	115	26.9%
現在の勤務地や学校への通勤・通学が可能	114	26.6%
仕事や学校が近くにある	98	22.9%
親・子・親族等との同居・近居	77	18.0%
子育てしやすい環境が整っている	50	11.7%
福祉サービス・施設が充実している	42	9.8%
教育や文化的環境が充実している	37	8.6%
その他	9	2.1%

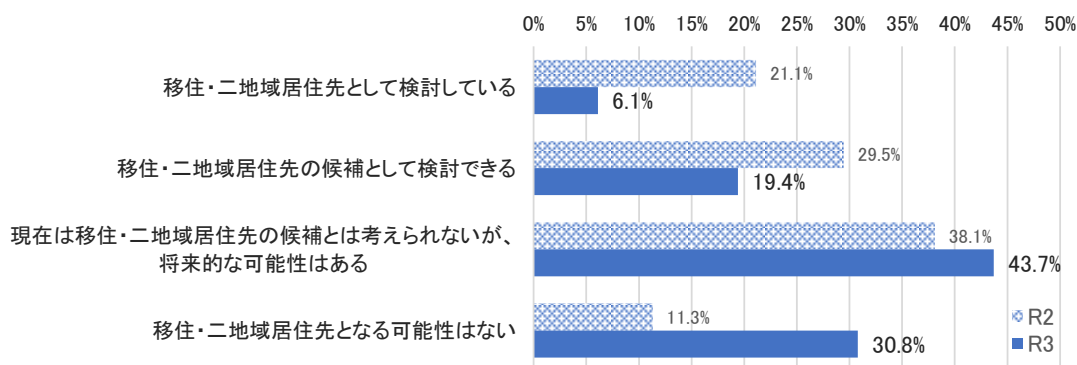


【問 13 で「移住や二地域居住等をしてみたい」、「現在は考えていないが将来的には検討してみたい」を選択された方】

問 15 ひたちなか市への将来的な移住や二地域居住についてあなたのお考えをお答えください。
[1つ選択]

- ・「現在は移住・二地域居住先の候補とは考えられないが、将来的な可能性はある」の回答が 43.7% で最も多い。
- ・移住や二地域居住を検討している方（428 名）のうち、ひたちなか市を将来的な「移住・二地域居住先として検討している」と 26 名（6.1%）が回答している。
- ・ひたちなか市へのゆかりの有無との関係を見ると、ひたちなか市を将来的な「移住・二地域居住先として検討している」回答者のうち、「友人や知り合いが住んでいる」人が最も多く 38.5% となっている。また、19.2% が「ひたちなか市で生まれ育った」と回答しており、Uターンを検討している。
- ・年齢別の回答では、「18～29 歳」で「移住・二地域居住先として検討している」の回答割合が最も大きく 8.7% となっており、次に「30～39 歳」が 8.3% と続いている。
- ・認知度別の回答では、ひたちなか市を「詳しく知っている」方で「移住・二地域居住先として検討している」の回答割合が最も大きく 20.5% となっている。

総数	428	100.0%
移住・二地域居住先として検討している	26	6.1%
移住・二地域居住先の候補として検討できる	83	19.4%
現在は移住・二地域居住先の候補とは考えられないが、将来的な可能性はある	187	43.7%
移住・二地域居住先となる可能性はない	132	30.8%

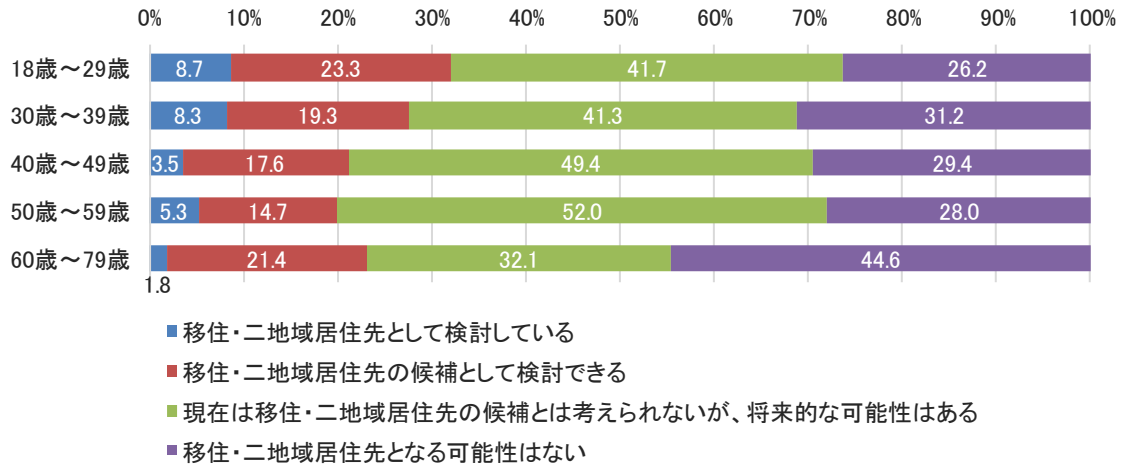


【ひたちなか市へのゆかりの有無とひたちなか市への将来的な移住や二地域居住について】

	ひたちなか市で生まれ育った	祖父母の故郷である	過去、一時的に住んでいたことがある	友人や知り合いが住んでいる	過去、市内で働いていたことがある	その他	ゆかりは特になし
総数	2.1%	2.3%	1.9%	19.6%	2.6%	5.6%	72.0%
移住・二地域居住先として検討している	19.2%	15.4%	11.5%	38.5%	15.4%	0.0%	30.8%
移住・二地域居住先の候補として検討できる	2.4%	3.6%	3.6%	38.6%	2.4%	8.4%	49.4%
現在は移住・二地域居住先の候補とは考えられないが、将来的な可能性はある	1.1%	1.1%	0.5%	14.4%	2.1%	5.9%	79.7%
移住・二地域居住先となる可能性はない	0.0%	0.8%	0.8%	11.4%	0.8%	4.5%	83.3%

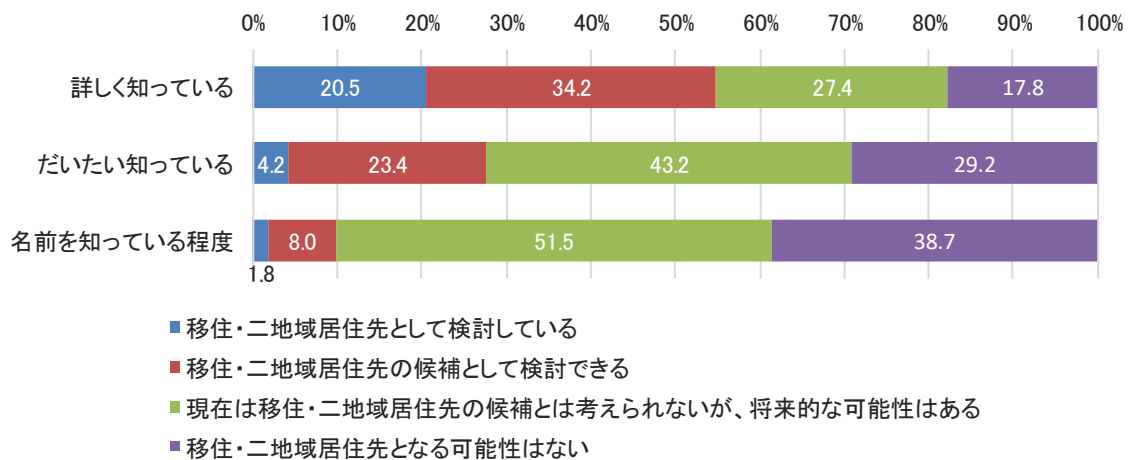
【年齢別のひたちなか市への将来的な移住や二地域居住について】

%	移住・二地域居住先として検討している	移住・二地域居住先の候補として検討できる	現在は移住・二地域居住先の候補とは考えられないが、将来的な可能性はある	移住・二地域居住先となる可能性はない
総数	6.1%	19.4%	43.7%	30.8%
18歳～29歳	8.7%	23.3%	41.7%	26.2%
30歳～39歳	8.3%	19.3%	41.3%	31.2%
40歳～49歳	3.5%	17.6%	49.4%	29.4%
50歳～59歳	5.3%	14.7%	52.0%	28.0%
60歳～79歳	1.8%	21.4%	32.1%	44.6%



【認知度別のひたちなか市への将来的な移住や二地域居住について】

%	移住・二地域居住先として検討している	移住・二地域居住先の候補として検討できる	現在は移住・二地域居住先の候補とは考えられないが、将来的な可能性はある	移住・二地域居住先となる可能性はない
総数	6.1%	19.4%	43.7%	30.8%
詳しく知っている	20.5%	34.2%	27.4%	17.8%
だいたい知っている	4.2%	23.4%	43.2%	29.2%
名前を知っている程度	1.8%	8.0%	51.5%	38.7%



問 16 問 15 のあなたの回答の理由をお聞かせください。[自由記入]

- ・ひたちなか市を将来的な「移住・二地域居住先として検討している」もしくは「移住・二地域居住先の候補として検討できる」と回答した方の理由では，“自然が豊かだから”，“東京へのアクセスが良いから”等の意見が挙がっていた。
- ・ひたちなか市は将来的な「移住・二地域居住先となる可能性はない」と回答した方の理由では，“アクセスが悪い”，“都心や職場から遠い”といった意見が見られた。また，“ゆかりがない”，“地震への不安”等の意見も挙がっていた。

【問 14 で「移住・二地域居住先として検討している」もしくは「移住・二地域居住先の候補として検討できる」を選択した方の主な理由】

- ・東京へアクセスしやすく、商業施設もある程度揃っているから
 - ・首都圏にあり、自然環境にも恵まれた立地だから
 - ・家賃の低さ、アクセスが程良い、自然に触れられるから
 - ・買い物や病院には困らなそうだし、海が近いので新鮮な魚が食べられそう
 - ・海があることが大きい。海産物も多く子供が海で体験できることが沢山あるから
 - ・知り合いが住んでいて、何度か訪れていて、環境が良いと思っているから
 - ・海や山なども近く自然が豊かできれいだから
 - ・自然が多く観光できるところがたくさんあるから
- 等

【問 15 で「移住・二地域居住先となる可能性はない」を選択した方の主な理由】

- ・土地勘のないところへの移住は考えてないから
 - ・もっとレジャー施設や文化施設が充実している場所がいいから
 - ・アクセスが悪いから
 - ・都心までが遠いから
 - ・親が住んでいる場所と離れすぎているから
 - ・地震への不安があるから
 - ・海が近いと塩害や経年劣化が早いから
 - ・ゆかりがないから
 - ・他に考えている場所があるから
- 等

問 17 あなたが移住や二地域居住先として検討している、または候補となりえると考える地域とその理由について教えてください。[自由記入]

- ・移住や二地域居住先として検討している、または候補となりえると考える地域について、「ひたちなか市」の回答が最も多く、「自然が豊か」や「食べ物が美味しい」等が理由として挙げられている。
- ・その他の地域では、「沖縄」や「長野」、「北海道」の回答が多くなっており、ひたちなか市と同じく「海や山などの自然環境」等が主な要因として挙げられている。

【回答結果上位 5 地域とその理由】

地域	回答数	主な理由
ひたちなか市	29	・生活しやすく自然が豊かだから ・温暖で食べ物が美味しいから ・アウトレットなどのショッピング施設が充実しているから ・物価が安いから ・実家があるから 等
沖縄	27	・海が好きだから ・遠く離れてる事により特別感が有り、リフレッシュ出来そうだから ・温暖だから ・自然が綺麗だから 等
長野	18	・自然が豊富で空気が美味しい場所というイメージ ・山からの雄大な景色を楽しみたい ・水や自然環境が綺麗だから ・新幹線での通勤が可能だから 等
北海道	18	・非日常を味わえるから ・自然が多く、夏でも過ごしやすいから ・農業、鉄道などの交通に興味があるから ・故郷だから 等
軽井沢	16	・自然が豊かな感じがするから ・リゾートとして店舗も多く栄えているから ・別荘地のため、別荘を保有すれば拠点にしやすいから ・温泉を楽しめるから 等

※地域について、回答内容に基づき、県と市町村は区別して集計、「沖縄」等の表記は県として集計

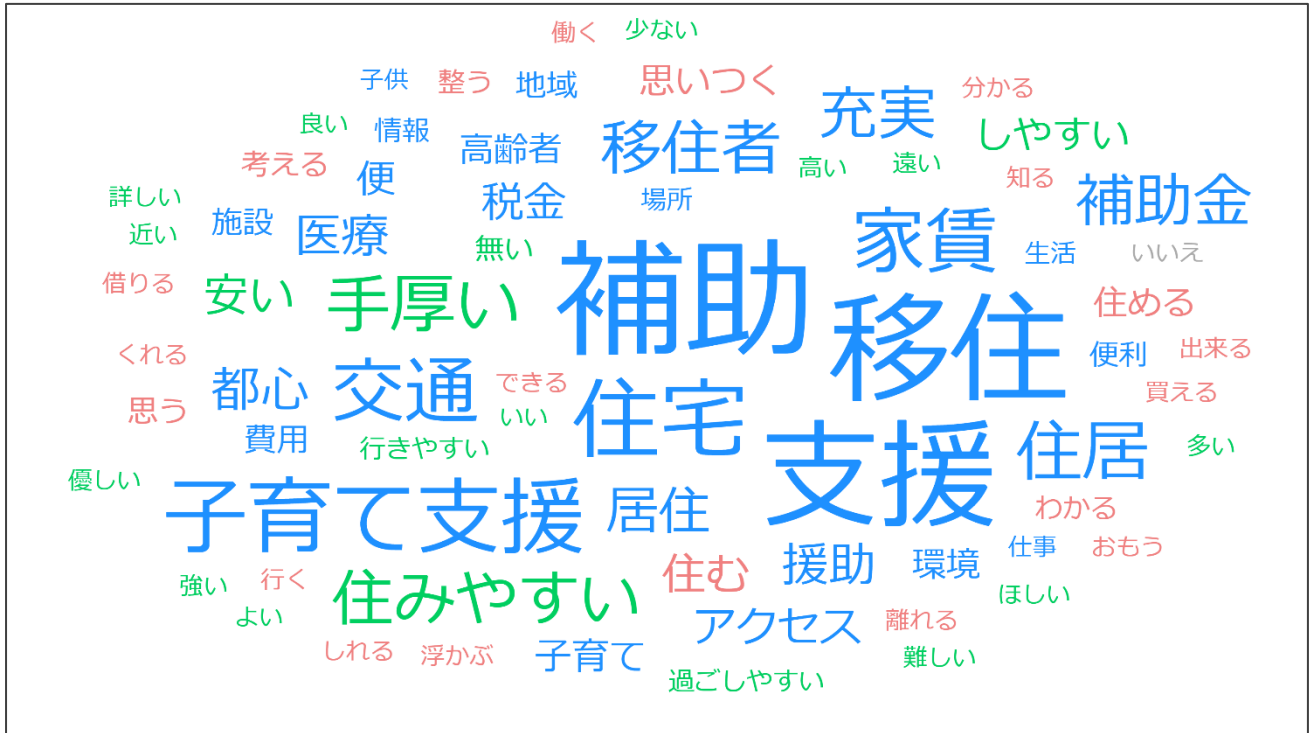
問 18 どのような取組や支援、情報があればひたちなか市に移住、または二地域居住したいと思いますか。[自由記入]

【自由記述へのテキストマイニングによる分析結果】

※ユーザーローカル テキストマイニングツール(<https://textmining.userlocal.jp/>)により分析

■ワードクラウド

・「補助」、「住宅」、「子育て支援」等が特徴的に表れている。



■単語出現度

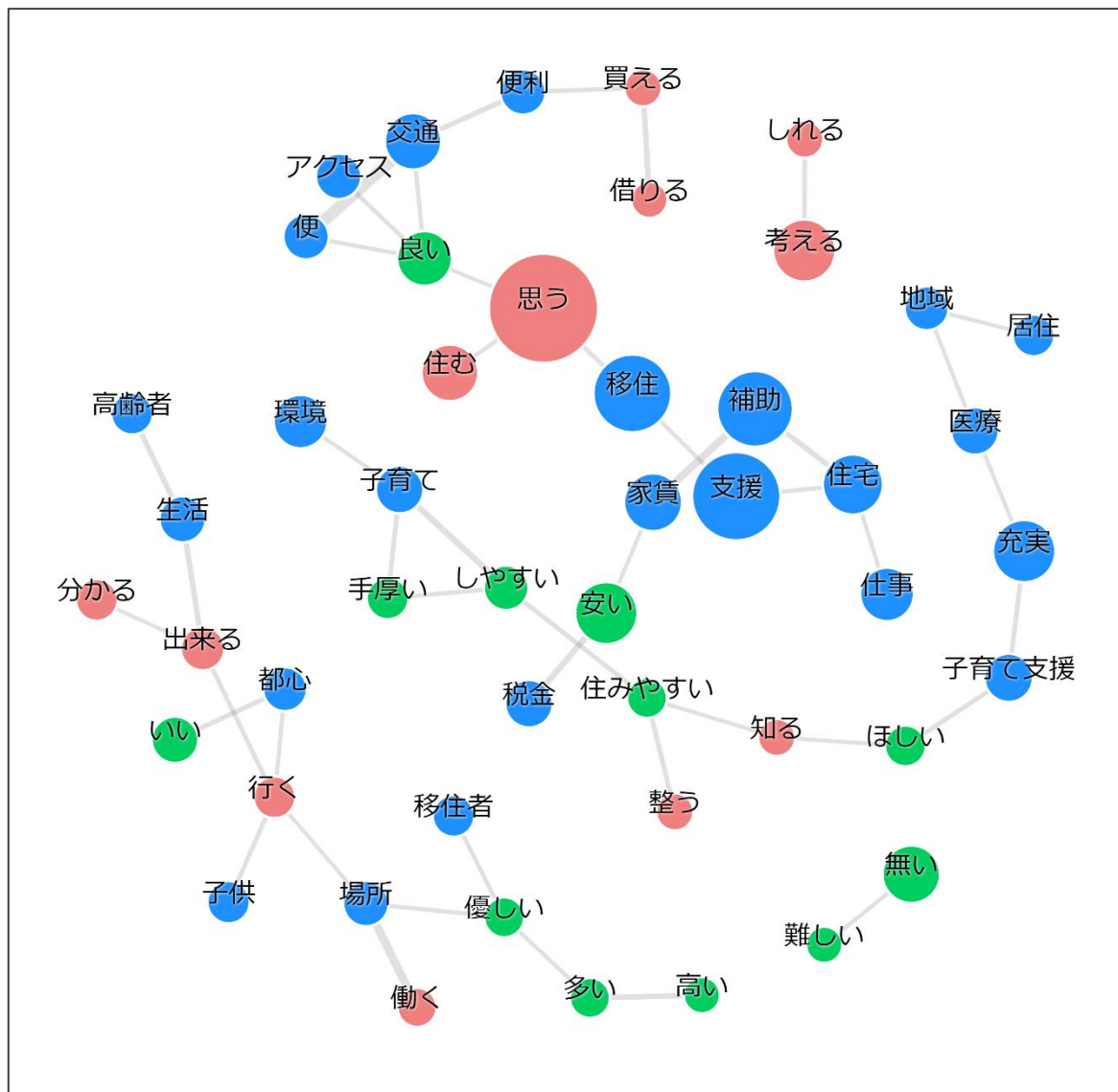
- ・「移住」、「補助」、「充実」等の出現回数が多い。
- ・「住宅」、「家賃」等の出現回数も多い。

(一般的な単語※を除いた、出現頻度の多い上位 10 単語 (※取組, 支援等))

単語	品詞	出現回数	単語	品詞	出現回数
移住	名詞	60	交通	名詞	31
補助	名詞	57	環境	名詞	27
充実	名詞	39	仕事	名詞	27
住宅	名詞	36	情報	名詞	22
家賃	名詞	33	子育て支援	名詞	20

■出現パターン

- 出現回数の多いワードの出現パターンをみると、「補助」は「住宅」や「家賃」と、「充実」は「医療」や「子育て支援」と関連して出現している傾向がある。



■自由記述分析結果まとめ

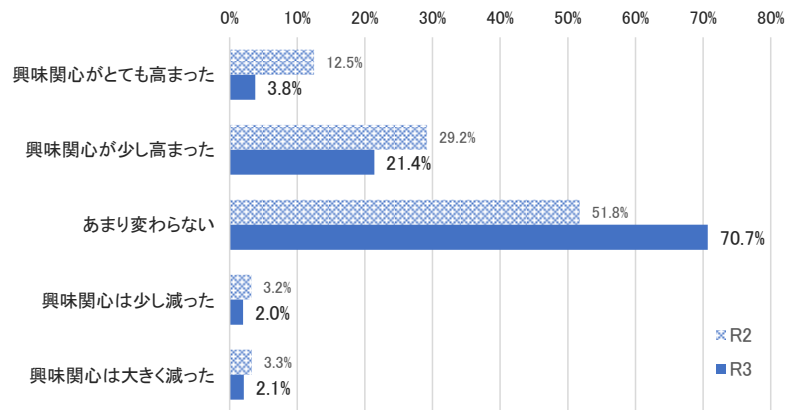
- “住宅取得に関する補助”や“家賃補助”，“住居の斡旋”など住まいに関する補助や，移住に関する補助金，就職支援，空き家情報など移住に関する情報提供等の支援を求める意見が多い傾向が見られる。
- また“子育て支援”の充実を求める意見や，高齢者住宅の確保や高齢者福祉の充実といった“高齢者支援”を求める意見も多く見られる。

(6) その他の設問について

問 19 新型コロナウイルスの影響によって、茨城県等関東郊外(東京まで1時間半程度でアクセス可能)への移住・定住・二地域居住等への興味・関心は高まりましたか。[1つ選択]

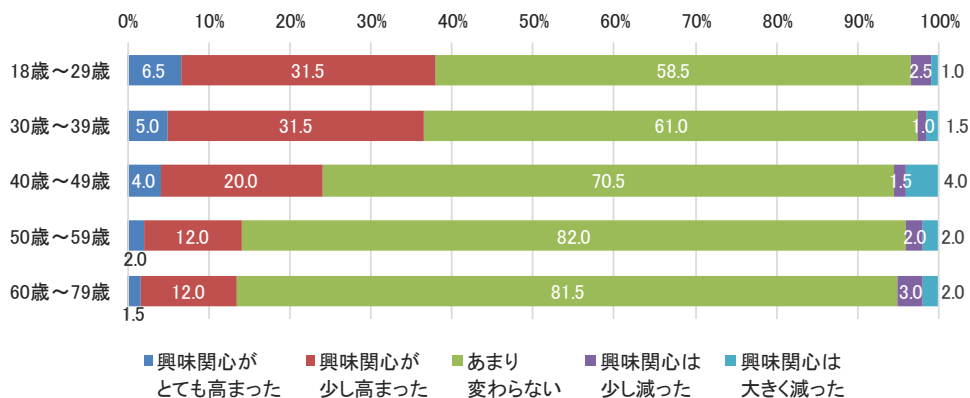
- ・移住・定住・二地域居住等への興味・関心について、「あまり変わらない」との回答が70.7%で最も多く、「興味関心が少し高まった」が21.4%が続いている。
- ・年齢別の回答では、「18～29歳」で「興味関心がとても高まった」の回答割合が最も大きく6.5%となっており、次に「30～39歳」が5.0%が続いている。

総数	1,000	100.0%
興味関心がとても高まった	38	3.8%
興味関心が少し高まった	214	21.4%
あまり変わらない	707	70.7%
興味関心は少し減った	20	2.0%
興味関心は大きく減った	21	2.1%



【年齢別の移住・定住・二地域居住への興味・関心について】

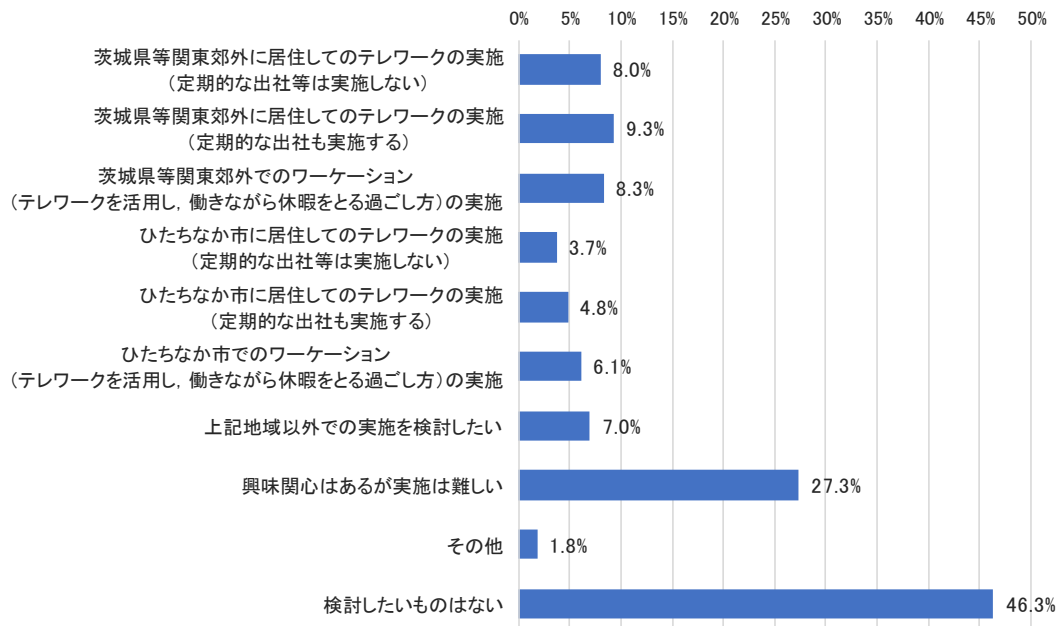
%	興味関心がとても高まった	興味関心が少し高まった	あまり変わらない	興味関心は少し減った	興味関心は大きく減った
総数	3.8%	21.4%	70.7%	2.0%	2.1%
18歳～29歳	6.5%	31.5%	58.5%	2.5%	1.0%
30歳～39歳	5.0%	31.5%	61.0%	1.0%	1.5%
40歳～49歳	4.0%	20.0%	70.5%	1.5%	4.0%
50歳～59歳	2.0%	12.0%	82.0%	2.0%	2.0%
60歳～79歳	1.5%	12.0%	81.5%	3.0%	2.0%



問 20 地方での働き方について、今後実際に検討していきたいものをお答えください。[あてはまるものすべて選択]

- ・地方での働き方について、「検討したいものはない」を除くと、「興味関心はあるが実施は難しい」が 27.3%で最も選択されており、「茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施（定期的な出社も実施する）」が 9.3%で次点となっている。
- ・「その他」の回答では、「現在の職業ではテレワークは難しい」等の意見が見られた。

総数	1,000	100.0%
茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施(定期的な出社等は実施しない)	80	8.0%
茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施(定期的な出社も実施する)	93	9.3%
茨城県等関東郊外でのワーケーション(テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方)の実施	83	8.3%
ひたちなか市に居住してのテレワークの実施(定期的な出社等は実施しない)	37	3.7%
ひたちなか市に居住してのテレワークの実施(定期的な出社も実施する)	48	4.8%
ひたちなか市でのワーケーション(テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方)の実施	61	6.1%
上記地域以外での実施を検討したい	70	7.0%
興味関心はあるが実施は難しい	273	27.3%
その他	18	1.8%
検討したいものはない	463	46.3%

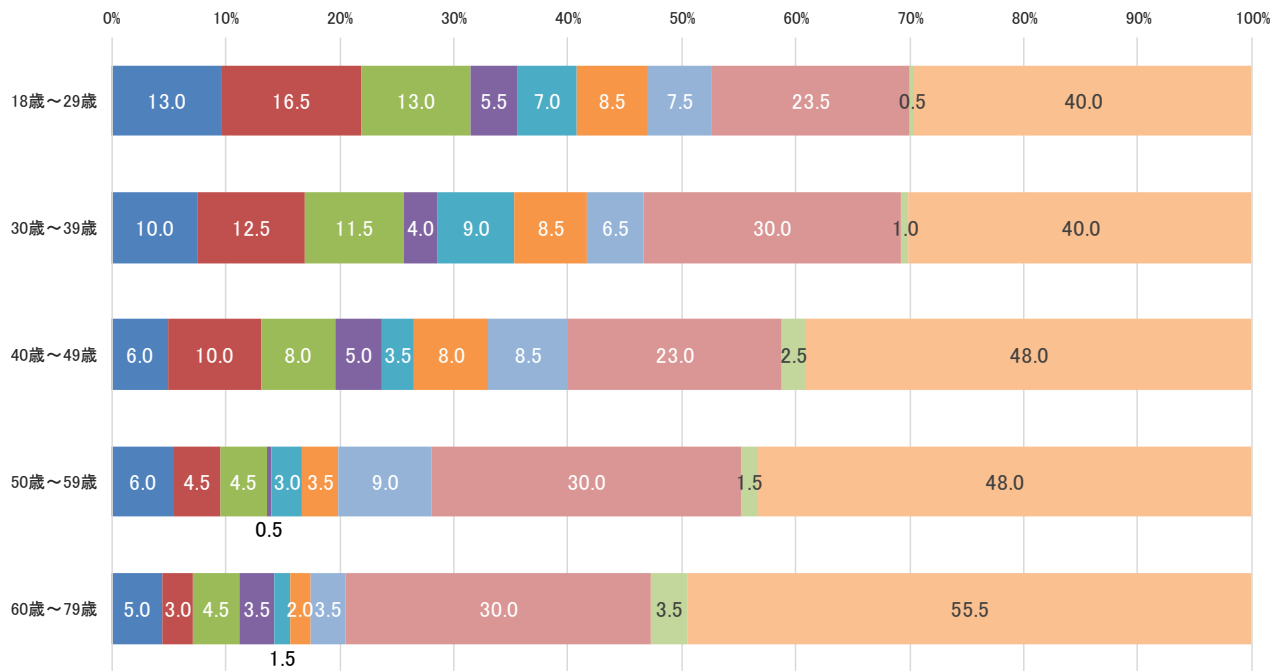


【前回調査 (R2) 参考】 ※項目が異なるため比較なし

総数	1,000	100.0%
茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施(定期的な出社等は実施しない)	169	16.90%
茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施(定期的な出社も実施する)	219	21.90%
茨城県等関東郊外でのワーケーション(テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方)の実施	171	17.10%
ひたちなか市に居住してのテレワークの実施(定期的な出社等は実施しない)	144	14.40%
ひたちなか市に居住してのテレワークの実施(定期的な出社も実施する)	94	9.40%
ひたちなか市でのワーケーション(テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方)の実施	92	9.20%
上記地域以外での実施を検討したい	68	6.80%
興味関心はあるが実施は難しい	438	43.80%
その他	20	2%

【年齢別の地方での働き方について】

%	茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施(定期的な出社等を実施しない)	茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施(定期的な出社も実施する)	茨城県等関東郊外でのワーケーション(テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方)の実施	ひたちなか市に居住してのテレワークの実施(定期的な出社等を実施しない)	ひたちなか市に居住してのテレワークの実施(定期的な出社も実施する)	ひたちなか市でのワーケーション(テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方)の実施	上記地域以外での実施を検討したい	興味関心はあるが実施は難しい	その他	検討したいものはない
総数	8.0%	9.3%	8.3%	3.7%	4.8%	6.1%	7.0%	27.3%	1.8%	46.3%
18歳～29歳	13.0%	16.5%	13.0%	5.5%	7.0%	8.5%	7.5%	23.5%	0.5%	40.0%
30歳～39歳	10.0%	12.5%	11.5%	4.0%	9.0%	8.5%	6.5%	30.0%	1.0%	40.0%
40歳～49歳	6.0%	10.0%	8.0%	5.0%	3.5%	8.0%	8.5%	23.0%	2.5%	48.0%
50歳～59歳	6.0%	4.5%	4.5%	0.5%	3.0%	3.5%	9.0%	30.0%	1.5%	48.0%
60歳～79歳	5.0%	3.0%	4.5%	3.5%	1.5%	2.0%	3.5%	30.0%	3.5%	55.5%

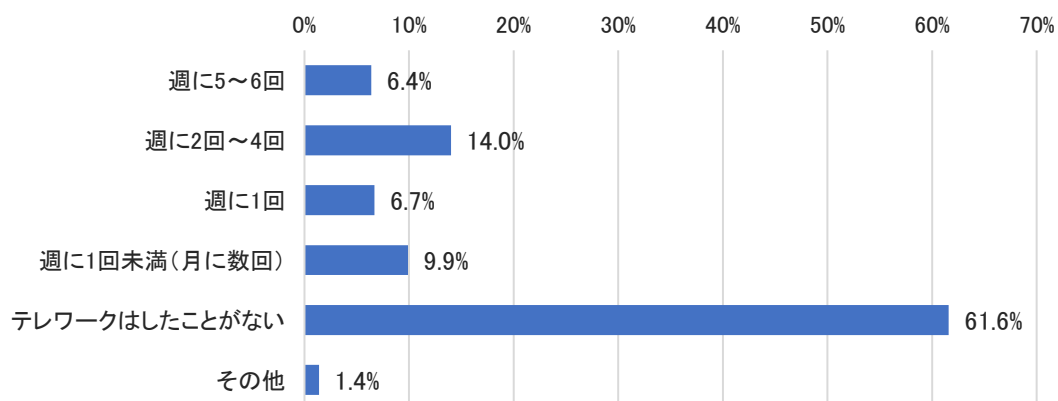


- 茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施(定期的な出社等を実施しない)
- 茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施(定期的な出社も実施する)
- 茨城県等関東郊外でのワーケーション(テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方)の実施
- ひたちなか市に居住してのテレワークの実施(定期的な出社等を実施しない)
- ひたちなか市に居住してのテレワークの実施(定期的な出社も実施する)
- ひたちなか市でのワーケーション(テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方)の実施
- 上記地域以外での実施を検討したい
- 興味関心はあるが実施は難しい
- その他
- 検討したいものはない

問 21 あなたの直近 1 年間のテレワークの頻度はどのくらいですか。[1つ選択]

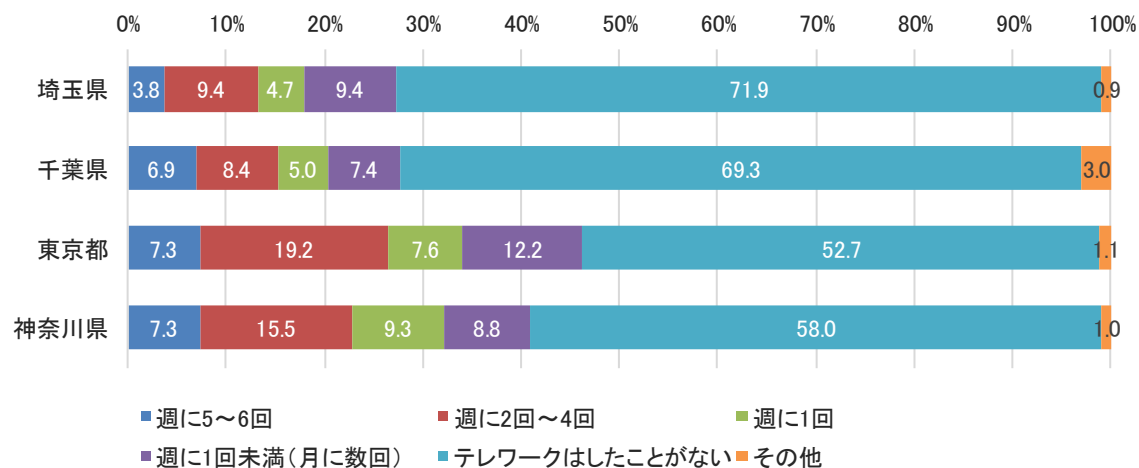
- 直近 1 年間のテレワークの頻度について、テレワークをしたことがある回答の中では「週に 2～4 回」が 14.0%と最も多く回答されている。
- 居住地別の回答では、「東京都」在住者でテレワークの頻度が高く、「週に 5～6 回」が 7.3%、「週に 2～4 回」が 19.2%となっている。
- 年齢別の回答では、「18 歳～29 歳」でテレワークの頻度が高く、「週に 5～6 回」が 8.0%、「週に 2～4 回」が 18.5%となっている。

総数	1,000	100.0%
週に5～6回	64	6.4%
週に2回～4回	140	14.0%
週に1回	67	6.7%
週に1回未満(月に数回)	99	9.9%
テレワークはしたことがない	616	61.6%
その他	14	1.4%



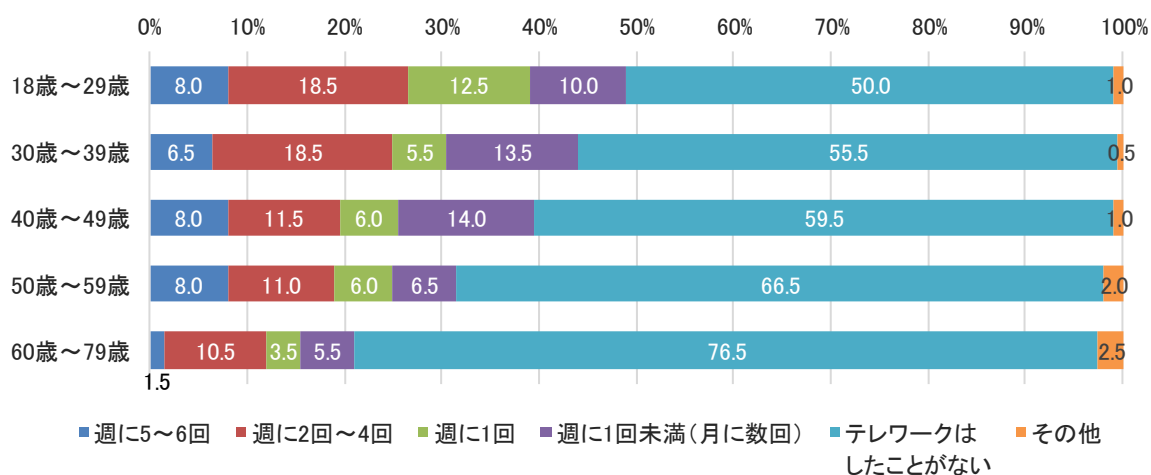
【居住地別のテレワークの頻度について】

%	週に5～6回	週に2回～4回	週に1回	週に1回未満 (月に数回)	テレワークは したことがない	その他
総数	6.4%	14.0%	6.7%	9.9%	61.6%	1.4%
埼玉県	3.8%	9.4%	4.7%	9.4%	71.9%	0.9%
千葉県	6.9%	8.4%	5.0%	7.4%	69.3%	3.0%
東京都	7.3%	19.2%	7.6%	12.2%	52.7%	1.1%
神奈川県	7.3%	15.5%	9.3%	8.8%	58.0%	1.0%



【年齢別のテレワークの頻度について】

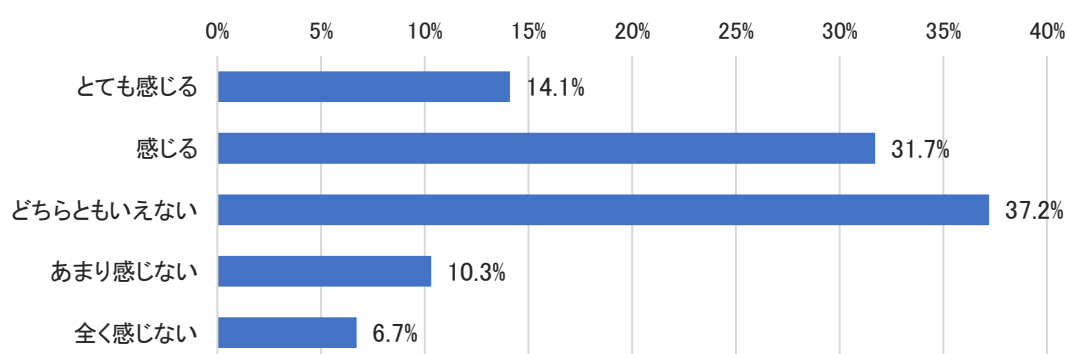
%	週に5～6回	週に2回～4回	週に1回	週に1回未満 (月に数回)	テレワークは したことがない	その他
総数	6.4%	14.0%	6.7%	9.9%	61.6%	1.4%
18歳～29歳	8.0%	18.5%	12.5%	10.0%	50.0%	1.0%
30歳～39歳	6.5%	18.5%	5.5%	13.5%	55.5%	0.5%
40歳～49歳	8.0%	11.5%	6.0%	14.0%	59.5%	1.0%
50歳～59歳	8.0%	11.0%	6.0%	6.5%	66.5%	2.0%
60歳～79歳	1.5%	10.5%	3.5%	5.5%	76.5%	2.5%



問22 あなたはテレワークが効果的だと感じますか。[1つ選択]

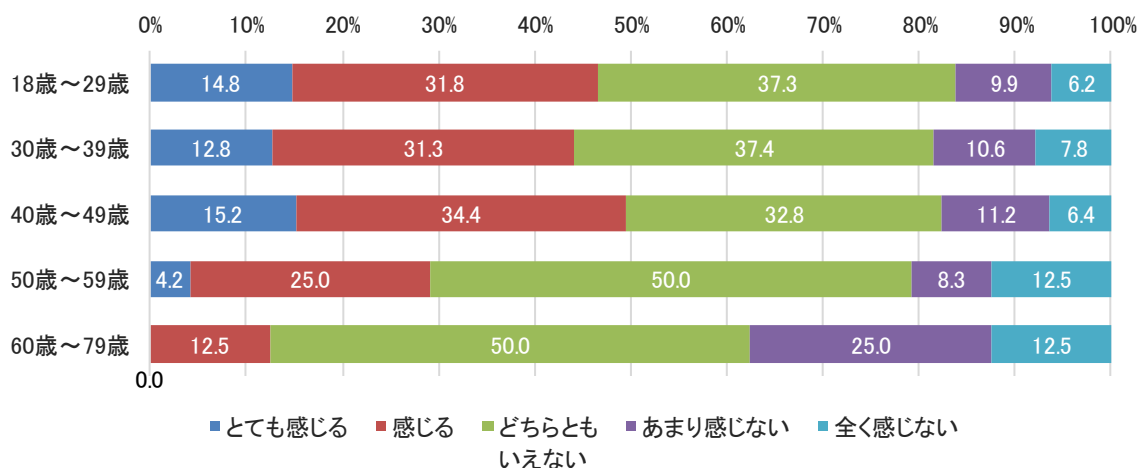
- テレワークが効果的と感じるかについて、「どちらともいえない」が37.2%で最も多い。「とても感じる」は14.1%で、「とても感じる」、「感じる」の合計は45.8%となっている。
- 年齢別の回答では、「40～49歳」で「とても感じる」の回答割合が最も大きく15.2%となっており、次に「18～29歳」が14.8%で続いている。

総数	1,000	100.0%
とても感じる	141	14.1%
感じる	317	31.7%
どちらともいえない	372	37.2%
あまり感じない	103	10.3%
全く感じない	67	6.7%



【年齢別のテレワークの効果について】

%	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない
総数	14.1	31.7	37.2	10.3	6.7
18歳～29歳	14.8	31.8	37.3	9.9	6.2
30歳～39歳	12.8	31.3	37.4	10.6	7.8
40歳～49歳	15.2	34.4	32.8	11.2	6.4
50歳～59歳	4.2	25.0	50.0	8.3	12.5
60歳～79歳	0.0	12.5	50.0	25.0	12.5



問 23 問 22 のように感じる理由をお答えください。[自由記入]

- ・テレワークの効果について、「とても感じる」と回答した方の理由では、“通勤時間の短縮”，“新型コロナウイルス感染症の感染防止になる”等の意見が挙がっていた。
- ・テレワークの効果を「全く感じない」と回答した方の理由では，“テレワークではできない仕事をしている”といった意見が多く見られた。また，“コミュニケーションに問題が発生する”等の意見も挙がっていた。

【問 22 で「とても感じる」を選択した方の主な理由】

- ・通勤時間を違うことに使う事が出来るから
- ・満員電車を避けられるから。
- ・感染症対策に有効
- ・人に会う必要がない
- ・自由時間が増えるから
- ・交通費の削減
- ・出社しなくても仕事ができるから
- ・家事や育児と両立できるから

等

【問 22 で「全く感じない」を選択した方の主な理由】

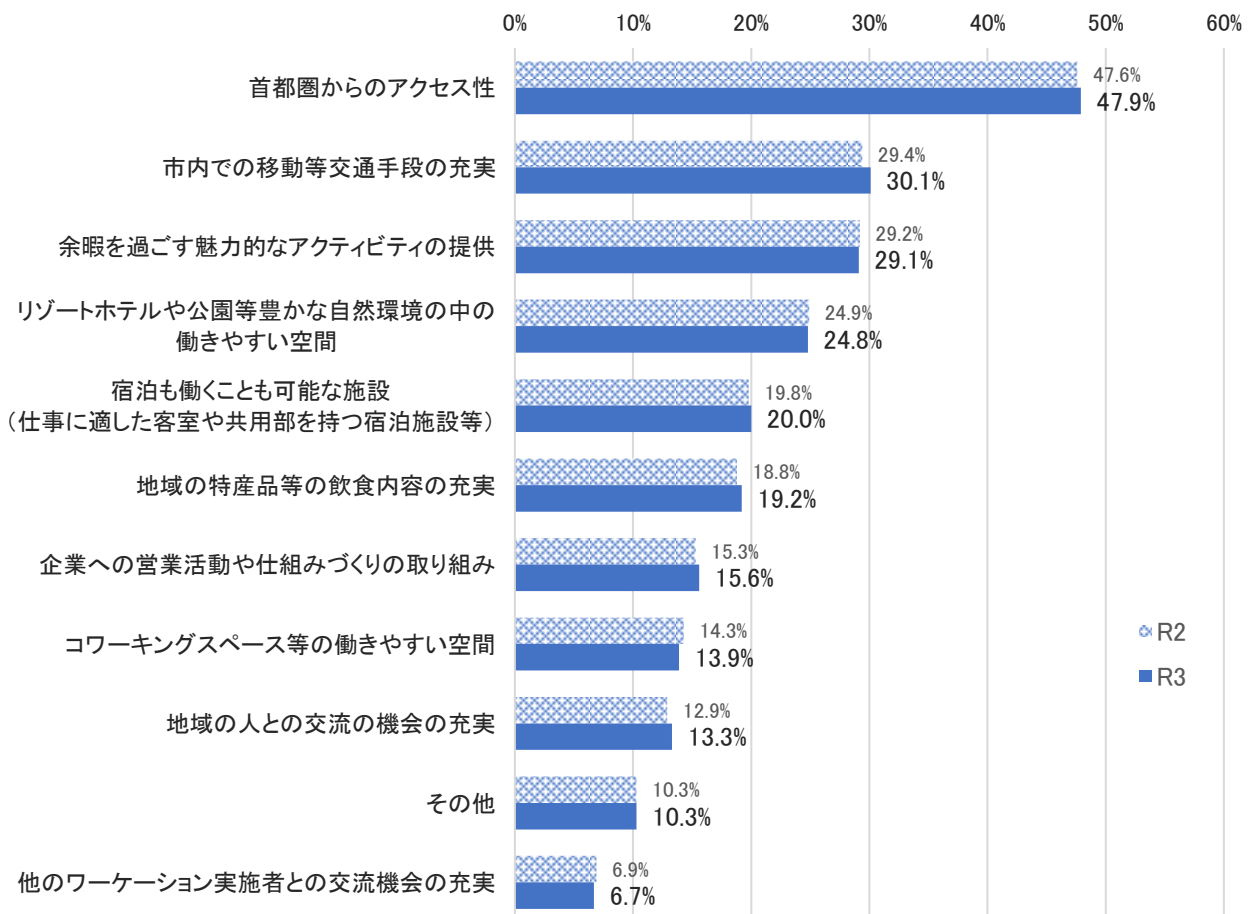
- ・仕事柄テレワークができない
- ・会社にテレワークのシステムがない
- ・人にちょっとしたことを聞くだけで電話やメールなど時間がかかるから
- ・コミュニケーションに問題が発生するから
- ・経済的損失が大きい
- ・現在は新型コロナウイルス感染症があまり拡大していないから
- ・プライベートの空間を大切にしたいから
- ・やり方がわからない

等

問 24 どのような要素があれば茨城県ひたちなか市でワーケーションを実施したいと考えますか。[あてはまるものすべて選択]

- ・ひたちなか市でワーケーションに必要な要素について、「首都圏からのアクセス性」が 47.9%と最も多く回答されており、「市内での移動等交通手段の充実」が 30.1%、「余暇を過ごす魅力的なアクティビティの提供」が 29.1%で続いている。

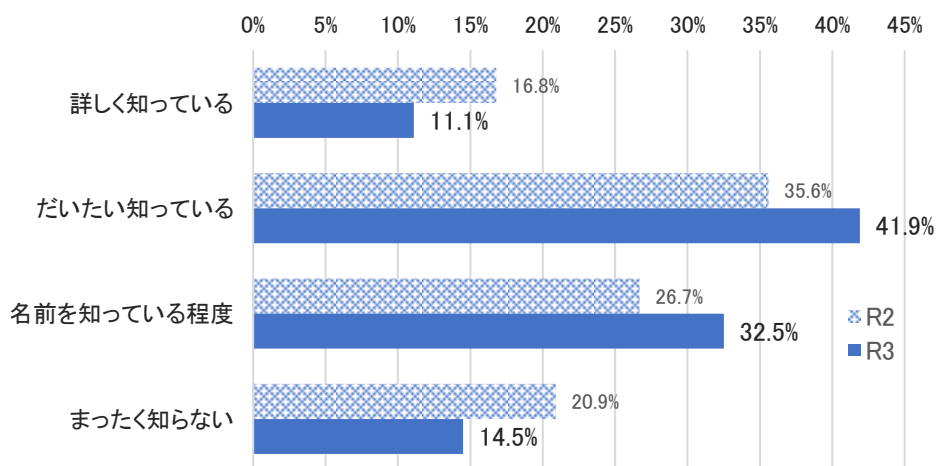
要素	総数	割合
首都圏からのアクセス性	479	47.9%
市内での移動等交通手段の充実	301	30.1%
余暇を過ごす魅力的なアクティビティの提供	291	29.1%
リゾートホテルや公園等豊かな自然環境の中の働きやすい空間	248	24.8%
宿泊も働くことも可能な施設(仕事に適した客室や共用部を持つ宿泊施設等)	200	20.0%
地域の特産品等の飲食内容の充実	192	19.2%
企業への営業活動や仕組みづくりの取り組み	156	15.6%
コワーキングスペース等の働きやすい空間	139	13.9%
地域の人との交流の機会の充実	133	13.3%
その他	103	10.3%
他のワーケーション実施者との交流機会の充実	67	6.7%



問 25 持続可能な開発目標（SDGs）を知っていますか。[1つ選択]

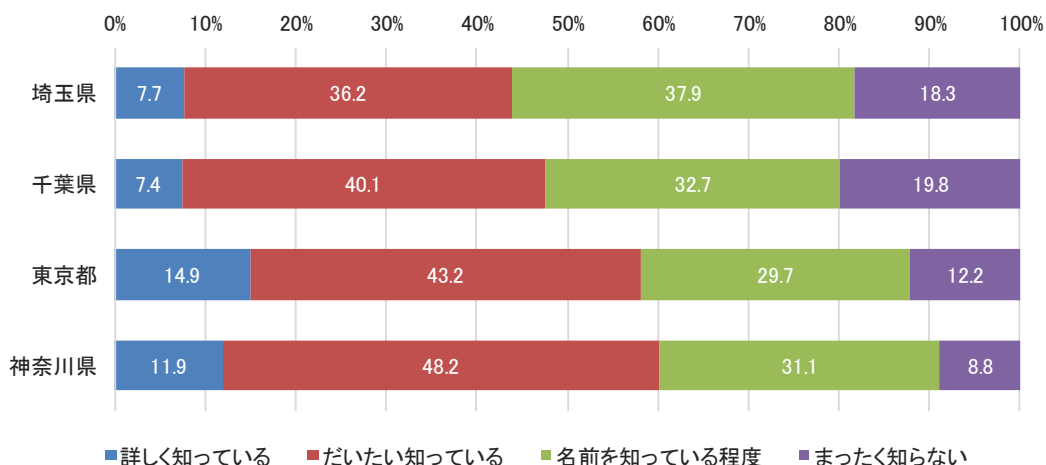
- 持続可能な開発目標（SDGs）について、「だいたい知っている」との回答が最も多く 41.9%、「名前を知っている程度」が 32.5%で続いている。
- 居住地別の回答では、「東京都」居住者で「詳しく知っている」の回答割合が最も大きく 14.9%となっている。
- 年齢別の回答では、「30～39 歳」で「詳しく知っている」の回答割合が最も大きく 17.5%となっており、次に「18～29 歳」が 16.0%と続いている。

総数	1,000	100.0%
詳しく知っている	111	11.1%
だいたい知っている	419	41.9%
名前を知っている程度	325	32.5%
まったく知らない	145	14.5%



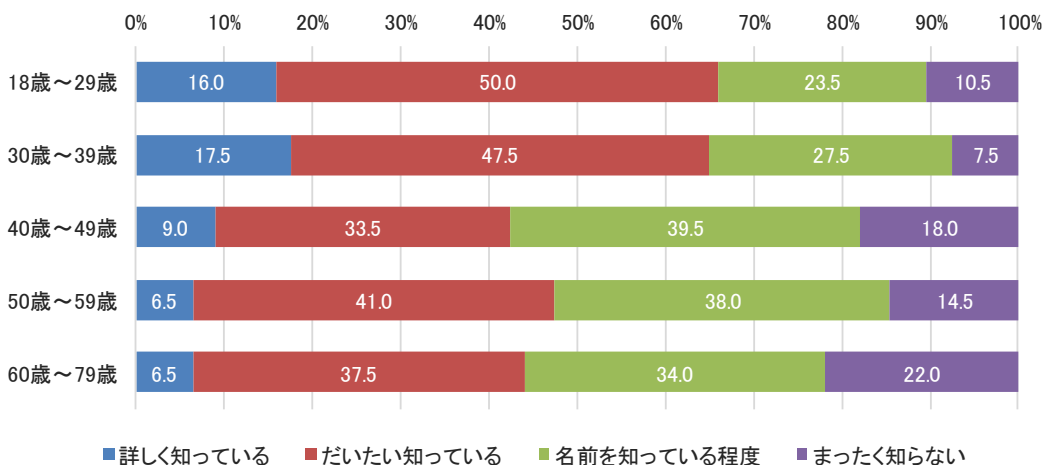
【居住地別のSDGsへの認知度について】

%	詳しく知っている	だいたい知っている	名前を知っている程度	まったく知らない
総数	11.1%	41.9%	32.5%	14.5%
埼玉県	7.7%	36.2%	37.9%	18.3%
千葉県	7.4%	40.1%	32.7%	19.8%
東京都	14.9%	43.2%	29.7%	12.2%
神奈川県	11.9%	48.2%	31.1%	8.8%



【年齢別のSDGsへの認知度について】

%	詳しく知っている	だいたい知っている	名前を知っている程度	まったく知らない
総数	11.1%	41.9%	32.5%	14.5%
18歳～29歳	16.0%	50.0%	23.5%	10.5%
30歳～39歳	17.5%	47.5%	27.5%	7.5%
40歳～49歳	9.0%	33.5%	39.5%	18.0%
50歳～59歳	6.5%	41.0%	38.0%	14.5%
60歳～79歳	6.5%	37.5%	34.0%	22.0%

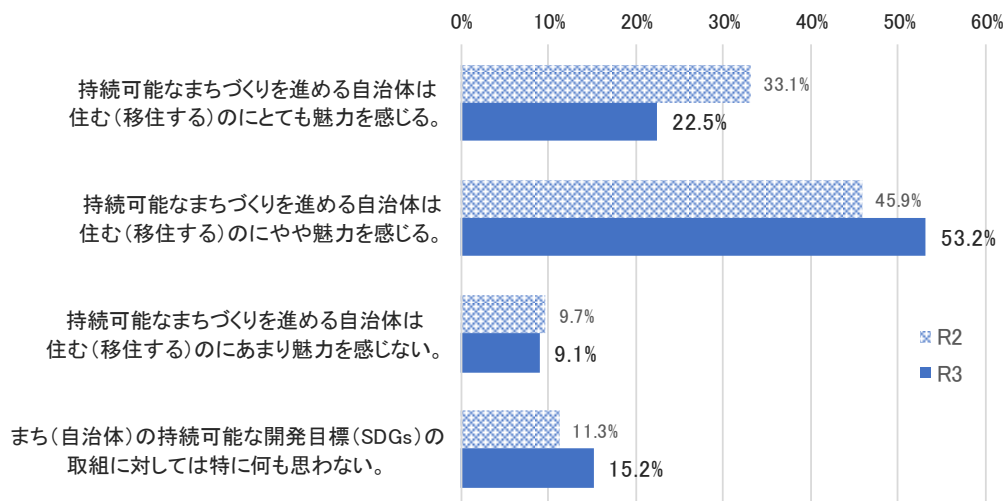


【問 25 で「まったく知らない」以外を選択された方】

問 26 持続可能な開発目標（SDGs）の取組を推進しているまち（自治体）をどう思いますか。
 [1つ選択]

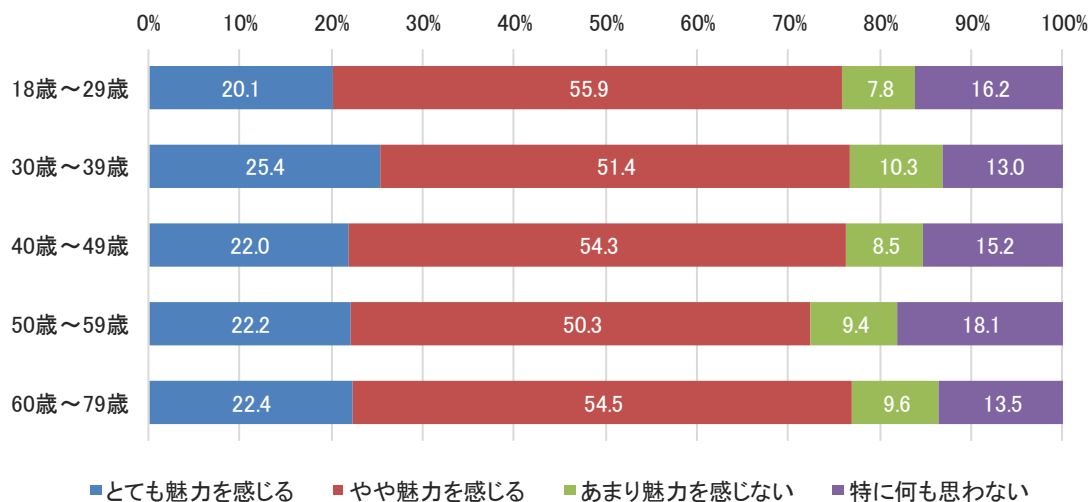
- 持続可能な開発目標（SDGs）の取組を推進しているまち（自治体）について、「住む（移住する）のにやや魅力を感じる」が 53.2%で最も多く、「住む（移住する）のにとても魅力を感じる」が 22.5%で続いている。
- 年齢別の回答では、「30～39 歳」で「住む（移住する）のにとても魅力を感じる」の回答割合が最も大きく 25.4%となっている。
- 移住意向別の回答では、「移住や二地域居住等をしてみたい」と考えている方で、SDGs に取り組む自治体に対して「とても魅力を感じる」の回答割合が最も大きく 35.0%となっている。

総数	855	100.0%
持続可能なまちづくりを進める自治体は住む（移住する）のにとても魅力を感じる。	192	22.5%
持続可能なまちづくりを進める自治体は住む（移住する）のにやや魅力を感じる。	455	53.2%
持続可能なまちづくりを進める自治体は住む（移住する）のにあまり魅力を感じない。	78	9.1%
まち（自治体）の持続可能な開発目標（SDGs）の取組に対しては特に何も思わない。	130	15.2%



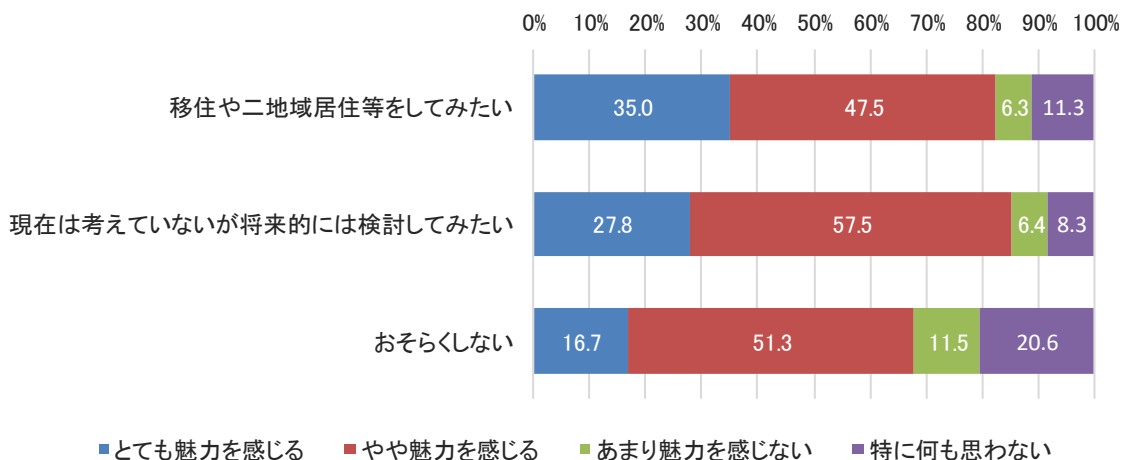
【年齢別のSDGsに取り組む自治体への居住（移住）について】

%	とても魅力を感じる	やや魅力を感じる	あまり魅力を感じない	特に何も思わない
総数	22.5%	53.2%	9.1%	15.2%
18歳～29歳	20.1%	55.9%	7.8%	16.2%
30歳～39歳	25.4%	51.4%	10.3%	13.0%
40歳～49歳	22.0%	54.3%	8.5%	15.2%
50歳～59歳	22.2%	50.3%	9.4%	18.1%
60歳～79歳	22.4%	54.5%	9.6%	13.5%



【移住意向別のSDGsに取り組む自治体への居住（移住）について】

%	とても魅力を感じる	やや魅力を感じる	あまり魅力を感じない	特に何も思わない
総数	22.5%	53.2%	9.1%	15.2%
移住や二地域居住等をしてみたい	35.0%	47.5%	6.3%	11.3%
現在は考えていないが将来的には検討してみたい	27.8%	57.5%	6.4%	8.3%
おそらくしない	16.7%	51.3%	11.5%	20.6%



IV 参考資料

1. ひたちなか市への定住, 交流に関するインターネットアンケート調査設問

0. スクリーニングの設問 (3問)

狙い ・ 回答者の属性の把握および調査対象者の抽出

◆ 調査会社で把握する基礎項目 ◆

- 年齢
- 性別
- 結婚の有無
- 居住地
- 職業

※「居住形態」、「世帯年収」についてはスクリーニング調査で聴取

問 0-1 あなたは茨城県ひたちなか市を知っていますか。

【1つ選択】 < 認知度 >

1. 詳しく知っている
2. だいたい知っている
3. 名前を知っている程度
4. まったく知らない

【問 0-1 で 4 以外を選択された方】

問 0-2 あなたは茨城県ひたちなか市を何で知りましたか。

【あてはまるものすべて選択】 < 認知のタッチポイント (媒体) >

1. ひたちなか市に住んでいる家族・友人・知人の話
2. ひたちなか市に住んでいる人の SNS・ブログなど
3. ひたちなか市の名所, レジャースポットなどのホームページ, SNS
4. テレビ
5. インターネットのニュース・記事
6. ポータルサイト・検索サイト
7. ひたちなか市のホームページ・SNS
8. 新聞記事・広告
9. 雑誌記事・広告
10. 電車や駅での広告
11. その他

問 0-3 あなたは直近 3 年間（2019 年～2021 年）にひたちなか市にある以下の目的地を訪問したことはありますか。あてはまるものを全てお答えください。

【あてはまるものすべて選択】

1. 国営ひたち海浜公園
2. 那珂湊おさかな市場
3. ファッションクルーズニューポートひたちなか
4. ジョイフル本田 ニューポートひたちなか店
5. コストコホールセール ひたちなか倉庫店
6. 勝田ゴルフ倶楽部
7. 阿字ヶ浦海水浴場
8. 平磯海水浴場
9. ひたちなか海浜鉄道湊線
10. 酒列磯前神社
11. 虎塚古墳
12. 平磯白亜紀層
13. 那珂湊反射炉跡
14. ROCK IN JAPAN FESTIVAL
15. 勝田全国マラソン
16. ひたちなか祭り
17. 株式会社日立製作所
18. 日立 Astemo 株式会社
19. 株式会社日立ハイテクマニファクチャ&サービス
20. 株式会社日立ハイテク（旧 株式会社日立ハイテクノロジーズ）
21. 工機ホールディングス（旧 日立工機株式会社）
22. 日立建機株式会社
23. 株式会社日立物流
24. コマツ物流株式会社
25. 株式会社日立カーエンジニアリング
26. ビークルエナジージャパン株式会社（旧 日立ビークルエナジー株式会社）
27. 昭和電工マテリアルズ株式会社（旧 日立化成工業株式会社）
28. 北越コーポレーション
29. 北越パッケージ株式会社
30. ルネサスエレクトロニクス株式会社
31. 株式会社小松製作所
32. 常陸那珂港区
33. 自動車安全運転センター
34. 陸上自衛隊 勝田駐屯地
35. 家族・知人の家
36. その他
37. ひたちなか市を訪問したことはない

⇒ 1～36 のいずれかを選択した場合、次の頁の質問に移行

⇒「37.ひたちなか市を訪問したことはない」を選択した場合、調査終了

1. あなた自身について（2問）

問1 あなたの同居家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。

【1つ選択】

1. 単身（自分だけの一人暮らし）
2. 親
3. 配偶者
4. 配偶者と子
5. 配偶者と親（配偶者の親を含む）
6. 配偶者と子と親（配偶者の親を含む）
7. 親と兄弟
8. その他（ ）

【問1で1以外を選択された方】

問2 同居家族に次の方はいますか。あてはまるものを全てお答えください。

【あてはまるものすべて選択】

1. 未就学児
2. 小学生
3. 中学生
4. 高校生以上の学生
5. 65～74歳の方
6. 75歳以上の方
7. あてはまるものはいない

2. 来訪経験・まちのイメージ・理解度についての設問の方向性（8問）

狙い

- ・満足度・理解度の現状の把握（セグメント毎の違い等）
- ・市内部の意識との比較（ギャップの有無の把握）

問3 あなたは、ひたちなか市とどのようなゆかりがありますか。

【あてはまるものすべて選択】 <市との関わり>

1. ひたちなか市で生まれ育った
2. 祖父母の故郷である
3. 過去、一時的に住んでいたことがある
4. 友人や知り合いが住んでいる
5. 過去、市内で働いていたことがある
6. その他
7. ゆかりは特にない

問4 あなたは直近3年間（2019年～2021年）で何度ひたちなか市を訪問しましたか。

【1つ選択】 <来訪頻度>

1. 1回
2. 2回
3. 3回
4. 4～5回
5. 6～9回
6. 10回以上

問5 直近3年間（2019年～2021年）でひたちなか市を訪問した目的をお答えください。（複数回訪問された方は、訪問した最も多い目的をお答えください。）

【1つ選択】 <来訪目的>

1. 観光
2. ビジネス
3. 家族・知人の訪問
4. その他（ ）

問6 直近のひたちなか市を訪問した際の満足度をお答えください。

【1つ選択】 <来訪満足度>

1. とても満足
2. やや満足
3. どちらでもない
4. やや不満
5. とても不満

問7 問6で回答した満足度の理由をお答えください。

【必須：自由記入】

--

問8 あなたはまたひたちなか市を訪れたいですか。

【1つ選択】 <再来訪意思>

1. とてもそう思う 2. 少しそう思う 3. どちらでもない 4. あまりそう思わない 5. まったく思わない
--

問9 どのような取組や地域資源があればひたちなか市をもっと訪れたいと思いますか。

【必須：自由記入】

--

問10 あなたはひたちなか市について、どの程度知っていますか。

【各問1つ選択】 <理解度>

項目	詳しく知っている	ある程度は知っている	知らない
1. 東京からのアクセス ・東京まで1時間半程度でアクセスできる。 (電車(東京駅～勝田駅)90分, 高速道路110分)	3	2	1
2. 所在地 ・茨城県の中央に位置し, 県庁所在地である水戸市まで, 電車で1駅(6分), 自動車は20分程度でアクセスできる。	3	2	1
3. 人口 ・水戸市, つくば市, 日立市に次いで, 茨城県で4番目の人口規模である。	3	2	1
4. 就業・雇用 ・日立製作所の企業城下町として発展した歴史があり, 市内には日立製作所と関連企業における雇用が多い。	3	2	1
5. 地価や住宅価格等 ・基準地価は, 38,000円/m ² 程度で練馬区の1/12程度である。	3	2	1
6. 買い物など ・大型ショッピングモールや映画館等が立地している。	3	2	1
7. 市内の交通手段 ・ひたちなか海浜鉄道湊線が市内を運行している。自家用車での移動が多い。	3	2	1
8. 自然環境・レジャー ・ひたち海浜公園や海水浴場, おさかな市場など自然環境やレジャーが充実している。	3	2	1
9. 特産品 ・干しいもの生産が盛んであり, 港町ならではの新鮮な海の幸も豊富に揃う。	3	2	1

3. 移住・定住等に関する設問案の方向性（9問）

狙い

- ・移住定住に関する首都圏層の意識の現状の把握
- ・ひたちなか市への移住、二地域居住に関心のあるターゲット層の抽出

問 11 あなたは、現在お住まいの地域の住み心地をどのように感じていますか。

【1つ選択】

1. とても住みやすい
2. どちらかと言えば住みやすい
3. どちらかと言えば住みにくい
4. とても住みにくい

【問 11 で 1. 2 を選択された方】

問 12-1 問 11 で「1. とても住みやすい」、「2. どちらかと言えば住みやすい」を選択された理由をお答えください。【あてはまるものすべて選択】

1. 通勤・通学先が近くにあるから
2. 自分や家族の通勤・通学に便利だから
3. 親・子・親族等との同居・近居のため
4. 地価や住宅価格等の条件が良いから
5. 日常の買い物等が便利だから
6. 道路事情や交通の便が良いから
7. 自然が多く環境が良いから
8. 教育や文化的環境が充実しているから
9. 子育てしやすい環境が整っているから
10. 医療環境が整っているから
11. 福祉サービス・施設が充実しているから
12. その他 ()

【問 11 で 3. 4 を選択された方】

問 12-2 問 11 で「3. どちらかと言えば住みにくい」、「4. とても住みにくい」を選択された理由をお答えください。【あてはまるものすべて選択】

1. 通勤・通学先が近くにないから
2. 自分や家族の通勤・通学に不便だから
3. 親・子・親族等が近くにいないから
4. 地価や住宅価格等の条件が良くないから
5. 日常の買い物等が便利でないから
6. 道路事情や交通の便が良くないから
7. 自然が少なく環境が良くないから
8. 教育や文化的環境が十分でないから
9. 子育てしやすい環境が十分でないから
10. 医療環境が十分でないから
11. 福祉サービス・施設が十分でないから
12. その他 ()

問 13 今後、移住や二地域居住等をしてみたいと思いますか。

※二地域居住…都市部と地方を行き来し、生活の拠点を2つもつ暮らし方

例) 平日は仕事の拠点がある都市部で生活し、週末や休日になると田舎のもう1つの拠点で過ごすなど

【1つ選択】 <問 14 以降の対象を抽出>

1. 移住や二地域居住等をしてみたい
2. 現在は考えていないが将来的には検討してみたい
3. おそらくしない

【問 13 で 1. 2 を選択された方】

問 14 あなたが今後移住・二地域居住先を決定する際の優先的に考える条件について3つお答えください。

【1つ選択】 <ニーズの把握>

1. 仕事や学校が近くにある
2. 現在の勤務地や学校への通勤・通学が可能
3. 親・子・親族等との同居・近居
4. 地価や住宅価格等の条件が良い
5. 日常の買い物が便利
6. 道路事情や交通の便が良い
7. 自然が多く環境が良い
8. 教育や文化的環境が充実している
9. 子育てしやすい環境が整っている
10. 医療環境が整っている
11. 福祉サービス・施設が充実している
12. その他 ()

【問 13 で 1. 2 を選択された方】

問 15 ひたちなか市への将来的な移住や二地域居住についてあなたのお考えをお答えください。

【1つ選択】 <現状の把握>

1. 移住・二地域居住先として検討している
2. 移住・二地域居住先の候補として検討できる
3. 現在は移住・二地域居住先の候補とは考えられないが、将来的な可能性はある
4. 移住・二地域居住先となる可能性はない

問 16 問 15 のあなたの回答の理由をお聞かせください。

【自由記入】 <要因の把握>

問 17 あなたが移住や二地域居住先として検討している、または候補となりえると考える地域とその理由について教えてください。

①候補となりえると考える地域（自治体名や地域の名前）【自由記入】

②理由【自由記入】

問 18 どのような取組や支援、情報があればひたちなか市に移住、または二地域居住したいと思いますか。

【自由記入】

--

4. アフターコロナにおける移住・定住等その他の設問（8問）

狙い

- ・新型コロナウイルスの影響による関東郊外への移住ニーズの確認
- ・ワーケーションやテレワーク等を希望するターゲット層の確認

問 19 新型コロナウイルスの影響によって、茨城県等関東郊外(東京まで 1 時間半程度でアクセス可能)への移住・定住・二地域居住等への興味・関心は高まりましたか。

【1つ選択】

1. 興味関心がとても高まった
2. 興味関心が少し高まった
3. あまり変わらない
4. 興味関心は少し減った
5. 興味関心は大きく減った

問 20 地方での働き方について、今後実際に検討していきたいものをお答えください。

【あてはまるものすべて選択】

1. 茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施（定期的な出社等は実施しない）
2. 茨城県等関東郊外に居住してのテレワークの実施（定期的な出社も実施する）
3. 茨城県等関東郊外でのワーケーション（テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方）の実施
4. ひたちなか市に居住してのテレワークの実施（定期的な出社等は実施しない）
5. ひたちなか市に居住してのテレワークの実施（定期的な出社も実施する）
6. ひたちなか市でのワーケーション（テレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方）の実施
7. 上記地域以外での実施を検討したい
8. 興味関心はあるが実施は難しい
9. その他
10. 検討したいものはない

問 21 あなたの直近 1 年間のテレワークの頻度はどのくらいですか。

【1つ選択】

1. 週に 5～6 回
2. 週に 2 回～4 回
3. 週に 1 回
4. 週に 1 回未満（月に数回）
5. テレワークはしたことがない
6. その他

問 22 あなたはテレワークが効果的だと感じますか。

【あてはまるものすべて選択】

1. とても感じる
2. 感じる
3. どちらともいえない
4. あまり感じない
5. 全く感じない

問 23 問 22 のように感じる理由をお答えください。

【自由記入】

問 24 どのような要素があれば茨城県ひたちなか市でワーケーションを実施したいと考えますか。

【あてはまるものすべて選択】

1. コワーキングスペース等の働きやすい空間
2. リゾートホテルや公園等豊かな自然環境の中の働きやすい空間
3. 首都圏からのアクセス性
4. 市内での移動等交通手段の充実
5. 宿泊も働くことも可能な施設（仕事に適した客室や共用部を持つ宿泊施設等）
6. 地域の特産品等の飲食内容の充実
7. 余暇を過ごす魅力的なアクティビティの提供
8. 地域の人との交流の機会の充実
9. 他のワーケーション実施者との交流機会の充実
10. 企業への営業活動や仕組みづくりの取り組み

問 25 持続可能な開発目標（SDGs）を知っていますか。

【1つ選択】

1. 詳しく知っている
2. だいたい知っている
3. 名前を知っている程度
4. まったく知らない

【問 25 で 1. 2. 3 を選択された方】

問 26 持続可能な開発目標（SDGs）の取組を推進しているまち（自治体）をどう思いますか。

【1つ選択】

1. 持続可能なまちづくりを進める自治体は住む（移住する）のにとっても魅力を感じる。
2. 持続可能なまちづくりを進める自治体は住む（移住する）のにやや魅力を感じる。
3. 持続可能なまちづくりを進める自治体は住む（移住する）のにあまり魅力を感じない。
4. まち（自治体）の持続可能な開発目標（SDGs）の取組に対しては特に何も思わない。